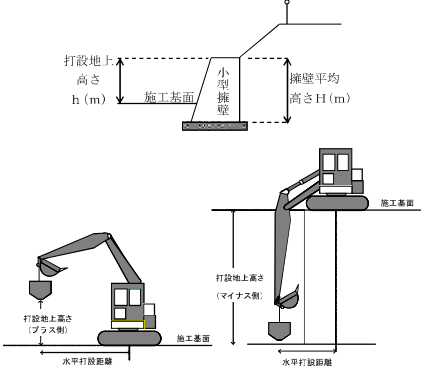


工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正 現 行	備 考
現	行	改 正	備 考
⑤ 場所打擁壁工 ⑤-1 場所打擁壁工(1) 1. 適 用 範 囲 本資料は、擁壁工における擁壁に適用する。 1-1 適用出来る範囲 1-1-1 小型擁壁 (1) 擁壁平均高さが0.5m以上1.0m以下の小型擁壁 (2) コンクリート打設地上高さが施工基面より上の場合、打設地上高さ0m以上2.5m以下、且つ水平打設距離4.5m以下 (3) コンクリート打設地上高さが施工基面より下の場合、打設地上高さ-7.0m以上0m未満、且つ水平打設距離3.5m以下  参考図(バックホウによるコンクリート打設範囲) 1-1-2 重力式擁壁 (1) 擁壁平均高さが1.0mを超え5.0m以下の重力式擁壁 (2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合 1-1-3 もたれ式擁壁 (1) 擁壁平均高さが3.0m以上8.0m以下のもたれ式擁壁 (2) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (3) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合 1-1-4 逆T型擁壁 (1) 擁壁平均高さが3.0m以上10.0m以下の逆T型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合 (4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合 1-1-5 L型擁壁 (1) 擁壁平均高さが3.0m以上7.0m以下のL型擁壁 (2) 使用鉄筋量が0.04t/m³以上0.14t/m³未満の場合 (3) 鉄筋規格がSD345 D13からSD345 D32の場合 (4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合 また、本項の適用を外れる現場打擁壁工については、「第Ⅱ編第2章共通工⑤-2場所打擁壁工(2)」を適用する。 Ⅱ-2-⑤-1	現行どおり 現行どおり 次頁へ移動	1-1-2 重力式擁壁 (1) 擁壁平均高さが1.0mを超え5.0m以下の重力式擁壁 (2) 擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満、且つコンクリート打設地上高さが施工基面より上の場合、打設地上高さ0m以上2.5m以下、且つ水平打設距離4.5m以下 (3) 擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満、且つコンクリート打設地上高さが施工基面より下の場合、打設地上高さ-7.0m以上0m未満、且つ水平打設距離3.5m以下 (4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8~12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) (控え頁) 1/11
積算上の注意事項			

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正 現 行		
現 行				改 正		備 考
前頁から移動 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 2-1 小型擁壁 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧、均し型枠製作設置・撤去、均しコンクリート打設・養生は、必要に応じて計上する。 3. 目地材、水抜きパイプ、吸出防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。				(4) コンクリート打設機械からの圧送管延長距離が280m以下の場合 (5) 圧送コンクリートのスランプ値が8～12cm、粗骨材の最大寸法が40mm以下の場合 1-2 適用出来ない範囲 (1) エポキシ樹脂塗装鉄筋を使用する場合 また、本項の適用を外れる現場打擁壁工については、「第Ⅱ編第2章共通工⑤-2場所打擁壁工(2)」を適用する。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 2-1 小型擁壁 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧、均し型枠製作設置・撤去、均しコンクリート打設・養生は、必要に応じて計上する。 3. 目地材、水抜きパイプ、吸出防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。		記載の変更 記載の変更
Ⅱ-2-⑤-2						
積算上の注意事項						(控え頁) 2/11

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行	
現 行		改 正	備 考
2-2 重力式擁壁，もたれ式擁壁 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧，均し型枠製作設置・撤去，均しコンクリート打設・養生は，必要に応じて計上する。 3. 目地材，水抜きパイプ，吸出防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。 II-2-⑤-3		2-2 重力式擁壁，もたれ式擁壁 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧，均し型枠製作設置・撤去，均しコンクリート打設・養生は，必要に応じて計上する。 3. 目地材，水抜きパイプ，吸出防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。	記載の変更
積算上の注意事項			(控え頁) 3/11

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行	
現 行		改 正		備 考
2-3 逆T型擁壁, L型擁壁 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧, 均し型枠製作設置・撤去, 均しコンクリート打設・養生は、必要に応じて計上する。 3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出し防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。ただし, 吸出し防止材は, 点在で設置する場合を標準としており, 面及び帯状のものを使用する場合は, 別途計上する。 4. ガス圧接が必要な場合は「第VI編第2章①-2 鉄筋工(ガス圧接工)」により, 別途計上する。		2-3 逆T型擁壁, L型擁壁 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. 基礎材敷均し・転圧, 均し型枠製作設置・撤去, 均しコンクリート打設・養生は、必要に応じて計上する。 3. 目地材, 水抜きパイプ, 吸出し防止材は施工の有無にかかわらず適用出来る。ただし, 吸出し防止材は, 点在で設置する場合を標準としており, 面及び帯状のものを使用する場合は, 別途計上する。 4. ガス圧接が必要な場合は「第VI編第2章①-2 鉄筋工(ガス圧接工)」により, 別途計上する。		記載の変更
積算上の注意事項				(控え頁) 4/11

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																																
現 行				改 正				備 考																																
3. 施工パッケージ 3-1 小型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 1 小型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>擁壁平均高さ</th><th>コンクリート規格</th><th>基礎砕石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th></tr><tr><td rowspan="12">(表 3.2)</td><td rowspan="6">(表 3.3)</td><td rowspan="6">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生・特殊養生(練炭)</td></tr><tr><td>特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生・特殊養生(練炭)</td></tr><tr><td>特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生・特殊養生(練炭)</td></tr><tr><td>特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生・特殊養生(練炭)</td></tr><tr><td>特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr></table> (注) 1. 上表は、小型擁壁（擁壁平均高さ0.5m 以上 1.0m 以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、基礎材、均しコンクリート、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭）、特殊養生（ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ））、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業を行う機械付補助労務、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパー等）の損料等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠、は含まない。 2. コンクリート打設に使用するバケットの容量は0.3m³を標準とする。 3. コンクリートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.06） 4. 化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②-1型枠工3-2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6. 足場が必要な場合は別途計上すること。 7. 基礎砕石の敷均し厚は、20㎝以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 表3. 2 擁壁平均高さ <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="3">擁壁平均高さ</td><td>0.5m以上0.6m未満</td></tr><tr><td>0.6m以上0.8m未満</td></tr><tr><td>0.8m以上1.0m以下</td></tr></table> Ⅱ-2-⑤-5				擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	(表 3.2)	(表 3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)	養生工無	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)	養生工無	有り	無し	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)	養生工無	有り	一般養生・特殊養生(練炭)	特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)	養生工無	積算条件	区分	擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満	0.6m以上0.8m未満	0.8m以上1.0m以下	現行どおり (注) 1. 上表は、小型擁壁（擁壁平均高さ0.5m 以上 1.0m 以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、基礎材、均しコンクリート、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭）、特殊養生（ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ））、コンクリートバケットへのコンクリート積込及び玉掛作業を行う機械付補助労務、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパーコンクリートバケット等）の損料、電力に関する経費等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠、は含まない。 現行どおり				記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）	
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類																																				
(表 3.2)	(表 3.3)	無し	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																				
				特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)																																				
				養生工無																																				
			有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																				
				特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)																																				
				養生工無																																				
	有り	無し	一般養生・特殊養生(練炭)																																					
			特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)																																					
			養生工無																																					
		有り	一般養生・特殊養生(練炭)																																					
			特殊養生(ｼｬｯﾄﾋｰﾀｰ)																																					
			養生工無																																					
積算条件	区分																																							
擁壁平均高さ	0.5m以上0.6m未満																																							
	0.6m以上0.8m未満																																							
	0.8m以上1.0m以下																																							
積算上の注意事項								(控え頁) 5／11																																

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

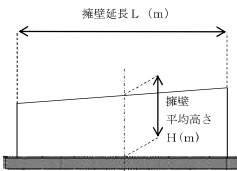
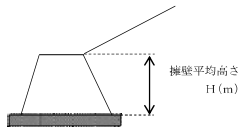
改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																
現 行				改 正		備 考																																																																														
表3. 3 コンクリート規格 <table><tr><th>積算条件</th><th colspan="2">区分</th></tr><tr><td rowspan="17">コンクリート規格</td><td>21-8-25 (20) (普通)</td><td>18-8-40 (高炉)</td></tr><tr><td>21-12-25 (20) (普通)</td><td>18-12-40 (高炉)</td></tr><tr><td>24-8-25 (20) (普通)</td><td>21-8-40 (高炉)</td></tr><tr><td>24-12-25 (20) (普通)</td><td>21-12-40 (高炉)</td></tr><tr><td>27-8-25 (20) (普通)</td><td>24-8-40 (高炉)</td></tr><tr><td>27-12-25 (20) (普通)</td><td>24-12-40 (高炉)</td></tr><tr><td>18-8-40 (普通)</td><td>21-8-25 (早強)</td></tr><tr><td>18-12-40 (普通)</td><td>21-12-25 (早強)</td></tr><tr><td>21-8-40 (普通)</td><td>24-8-25 (早強)</td></tr><tr><td>21-12-40 (普通)</td><td>24-12-25 (早強)</td></tr><tr><td>24-8-40 (普通)</td><td>18-8-25 (高炉)</td></tr><tr><td>24-12-40 (普通)</td><td>18-12-25 (高炉)</td></tr><tr><td>21-8-25 (20) (高炉)</td><td rowspan="5">各種</td></tr><tr><td>21-12-25 (20) (高炉)</td></tr><tr><td>24-8-25 (20) (高炉)</td></tr><tr><td>24-12-25 (20) (高炉)</td></tr><tr><td>24-12-25 (20) (高炉)</td></tr></table> (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 4 小型擁壁 代表機材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クリーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.45m³（平積0.35m³）吊能力2.9t</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力126MJ／h（30,100kcal／h）油種 灯油</td><td>・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀｰ)の場合 ・資料</td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>型わく工</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W／C 60％</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td><td>特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀｰ)の場合</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td><td></td></tr></table>				積算条件	区分		コンクリート規格	21-8-25 (20) (普通)	18-8-40 (高炉)	21-12-25 (20) (普通)	18-12-40 (高炉)	24-8-25 (20) (普通)	21-8-40 (高炉)	24-12-25 (20) (普通)	21-12-40 (高炉)	27-8-25 (20) (普通)	24-8-40 (高炉)	27-12-25 (20) (普通)	24-12-40 (高炉)	18-8-40 (普通)	21-8-25 (早強)	18-12-40 (普通)	21-12-25 (早強)	21-8-40 (普通)	24-8-25 (早強)	21-12-40 (普通)	24-12-25 (早強)	24-8-40 (普通)	18-8-25 (高炉)	24-12-40 (普通)	18-12-25 (高炉)	21-8-25 (20) (高炉)	各種	21-12-25 (20) (高炉)	24-8-25 (20) (高炉)	24-12-25 (20) (高炉)	24-12-25 (20) (高炉)	項目		代表機材規格	備考	機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クリーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）吊能力2.9t		K 2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力126MJ／h（30,100kcal／h）油種 灯油	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀｰ)の場合 ・資料	K 3	－		労務	R 1	型わく工		R 2	普通作業員		R 3	土木一般世話役		R 4	運転手（特殊）		材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W／C 60％		Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀｰ)の場合	Z 3	軽油 バトロール給油		Z 4	－		市場単価	S	－		現行どおり		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算条件	区分																																																																																			
コンクリート規格	21-8-25 (20) (普通)	18-8-40 (高炉)																																																																																		
	21-12-25 (20) (普通)	18-12-40 (高炉)																																																																																		
	24-8-25 (20) (普通)	21-8-40 (高炉)																																																																																		
	24-12-25 (20) (普通)	21-12-40 (高炉)																																																																																		
	27-8-25 (20) (普通)	24-8-40 (高炉)																																																																																		
	27-12-25 (20) (普通)	24-12-40 (高炉)																																																																																		
	18-8-40 (普通)	21-8-25 (早強)																																																																																		
	18-12-40 (普通)	21-12-25 (早強)																																																																																		
	21-8-40 (普通)	24-8-25 (早強)																																																																																		
	21-12-40 (普通)	24-12-25 (早強)																																																																																		
	24-8-40 (普通)	18-8-25 (高炉)																																																																																		
	24-12-40 (普通)	18-12-25 (高炉)																																																																																		
	21-8-25 (20) (高炉)	各種																																																																																		
	21-12-25 (20) (高炉)																																																																																			
	24-8-25 (20) (高炉)																																																																																			
	24-12-25 (20) (高炉)																																																																																			
	24-12-25 (20) (高炉)																																																																																			
項目		代表機材規格	備考																																																																																	
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クリーン機能付き・排出ガス対策型（2011年規制）〕山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）吊能力2.9t																																																																																		
	K 2	業務用可搬型ヒータ〔ジェットヒータ〕〔油だき・熱風・直火型〕熱出力126MJ／h（30,100kcal／h）油種 灯油	・特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀｰ)の場合 ・資料																																																																																	
	K 3	－																																																																																		
労務	R 1	型わく工																																																																																		
	R 2	普通作業員																																																																																		
	R 3	土木一般世話役																																																																																		
	R 4	運転手（特殊）																																																																																		
材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W／C 60％																																																																																		
	Z 2	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	特殊養生(ｼﾞｬｯﾄﾋｰﾀｰ)の場合																																																																																	
	Z 3	軽油 バトロール給油																																																																																		
	Z 4	－																																																																																		
市場単価	S	－																																																																																		
積算上の注意事項		(控え頁) 6／11																																																																																		

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行																																													
現 行		改 正	備 考																																												
3-2 重力式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.5 重力式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>擁壁平均高さ</th><th>コンクリート規格</th><th>基礎砕石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="10">1.0mを超え 2.0m未満</td><td rowspan="10">(表3.3)</td><td rowspan="10">無し</td><td rowspan="5">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="10">(表3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生(複炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(複炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td rowspan="5">有り</td><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(複炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td rowspan="14">2.0m以上 5.0m以下</td><td rowspan="14">(表3.3)</td><td rowspan="14">無し</td><td rowspan="7">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="14">(表3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生(複炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(複炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="7">有り</td><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(複炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(複炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジェットヒータ養生</td></tr></table> (注) 1. 上表は、重力式擁壁（擁壁平均高さ1.0mを超え5.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びクレン作業含む）、基礎材、均しコンクリート、一般足場（擁壁平均高さが2m未満の場合）、単管傾斜足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、手摺先行型枠組足場（擁壁平均高さが2m以上の場合）、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（複炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等）の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし化粧型枠は含まない。 2. コンクリートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.04） 3. 設計数量は、つま先版突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、第Ⅱ編第4章コンクリート工②-1型枠工3-2化粧型枠により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3-8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。		擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	1.0mを超え 2.0m未満	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	特殊養生(複炭・ジェットヒータ)	養生工無	一般養生	特殊養生(複炭・ジェットヒータ)	有り	養生工無	一般養生	特殊養生(複炭・ジェットヒータ)	養生工無	一般養生	2.0m以上 5.0m以下	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)	特殊養生(複炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	一般養生	特殊養生(複炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	有り	養生工無	一般養生	特殊養生(複炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	養生工無	一般養生	特殊養生(複炭・ジェットヒータ)	仮囲い内ジェットヒータ養生	現行どおり 現行どおり		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) (控え頁)
擁壁平均高さ	コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																																										
1.0mを超え 2.0m未満	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)																																										
				特殊養生(複炭・ジェットヒータ)																																											
				養生工無																																											
				一般養生																																											
				特殊養生(複炭・ジェットヒータ)																																											
			有り	養生工無																																											
				一般養生																																											
				特殊養生(複炭・ジェットヒータ)																																											
				養生工無																																											
				一般養生																																											
2.0m以上 5.0m以下	(表3.3)	無し	無し	一般養生	(表3.6)																																										
				特殊養生(複炭・ジェットヒータ)																																											
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																											
				養生工無																																											
				一般養生																																											
				特殊養生(複炭・ジェットヒータ)																																											
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																											
			有り	養生工無																																											
				一般養生																																											
				特殊養生(複炭・ジェットヒータ)																																											
				仮囲い内ジェットヒータ養生																																											
				養生工無																																											
				一般養生																																											
				特殊養生(複炭・ジェットヒータ)																																											
仮囲い内ジェットヒータ養生																																															
積算上の注意事項			7/11																																												

工 種	場所打擁壁工(1)
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正		備 考																																																																					
		現 行																																																																							
現 行		改 正		備 考																																																																					
6．基礎砕石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 7．擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 8．「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工③ー2雪寒仮囲い工」により別途計上する。 9．擁壁平均高さが1.0mを超え2.0m未満で、「仮囲い内ジェットヒータ養生」が必要な場合には別途考慮すること。 表3. 6 圧送管延長距離区分 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="4">圧送管延長距離区分</td><td>延長無し</td></tr><tr><td>90m未満</td></tr><tr><td>90m以上180m未満</td></tr><tr><td>180m以上280m以下</td></tr></table> (2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 7 重力式擁壁 代表機材材規格一覧 <table><tr><th>擁壁平均高さ</th><th>項目</th><th>代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="12">1mを超え2m未満</td><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>コンクリートポンプ車「トラック架装・ブーム式」圧送能力 90～110m³/h</td></tr><tr><td>K 2</td><td>－</td></tr><tr><td>K 3</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr><tr><td>R 2</td><td>型わく工</td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 4</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>－</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td></tr><tr><td rowspan="13">2m以上5m以下</td><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>コンクリートポンプ車「トラック架装・ブーム式」圧送能力 90～110m³/h</td></tr><tr><td>K 2</td><td>業務用可搬型ヒータ「ジェットヒータ」 ・油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油</td></tr><tr><td>K 3</td><td>発動発電機「ディーゼルエンジン駆動」 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr><tr><td>R 2</td><td>型わく工</td></tr><tr><td>R 3</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 4</td><td>とび工</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>軽油 バトロール給油</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>灯油 白灯油 業務用 ミニローリー</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>－</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>－</td></tr></table> Ⅱ-2-⑤-8		積算条件	区分		圧送管延長距離区分	延長無し	90m未満	90m以上180m未満	180m以上280m以下	擁壁平均高さ	項目	代表機材材規格	備考	1mを超え2m未満	機械	K 1	コンクリートポンプ車「トラック架装・ブーム式」圧送能力 90～110m ³ /h	K 2	－	K 3	－	労務	R 1	普通作業員	R 2	型わく工	R 3	土木一般世話役	R 4	特殊作業員	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	Z 2	軽油 バトロール給油	Z 3	－	Z 4	－	市場単価	S	－	2m以上5m以下	機械	K 1	コンクリートポンプ車「トラック架装・ブーム式」圧送能力 90～110m ³ /h	K 2	業務用可搬型ヒータ「ジェットヒータ」 ・油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油	K 3	発動発電機「ディーゼルエンジン駆動」 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA	労務	R 1	普通作業員	R 2	型わく工	R 3	土木一般世話役	R 4	とび工	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	Z 2	軽油 バトロール給油	Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー	Z 4	－	市場単価	S	－	改 正	
積算条件	区分																																																																								
圧送管延長距離区分	延長無し																																																																								
	90m未満																																																																								
	90m以上180m未満																																																																								
	180m以上280m以下																																																																								
擁壁平均高さ	項目	代表機材材規格	備考																																																																						
1mを超え2m未満	機械	K 1	コンクリートポンプ車「トラック架装・ブーム式」圧送能力 90～110m ³ /h																																																																						
		K 2	－																																																																						
		K 3	－																																																																						
	労務	R 1	普通作業員																																																																						
		R 2	型わく工																																																																						
		R 3	土木一般世話役																																																																						
		R 4	特殊作業員																																																																						
	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																						
		Z 2	軽油 バトロール給油																																																																						
		Z 3	－																																																																						
		Z 4	－																																																																						
	市場単価	S	－																																																																						
2m以上5m以下	機械	K 1	コンクリートポンプ車「トラック架装・ブーム式」圧送能力 90～110m ³ /h																																																																						
		K 2	業務用可搬型ヒータ「ジェットヒータ」 ・油だき・熱風・直火型 熱出力126MJ/h (30,100kcal/h) 油種 灯油																																																																						
		K 3	発動発電機「ディーゼルエンジン駆動」 定格容量 (50/60Hz) 2.7/3kVA																																																																						
	労務	R 1	普通作業員																																																																						
		R 2	型わく工																																																																						
		R 3	土木一般世話役																																																																						
		R 4	とび工																																																																						
	材料	Z 1	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%																																																																						
		Z 2	軽油 バトロール給油																																																																						
		Z 3	灯油 白灯油 業務用 ミニローリー																																																																						
		Z 4	－																																																																						
	市場単価	S	－																																																																						
	現 行																																																																								
積算上の注意事項				(控え頁) 8/11																																																																					

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行																						
現 行				改 正				備 考																				
[参考図] 擁壁高さが変化する場合の擁壁平均高さH (m) $H=A/L$ A＝正面図での擁壁面積 (㎡) L＝擁壁延長 (m)  擁壁正面図  擁壁断面図 3-3 もたれ式擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.8 もたれ式擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>コンクリート規格</th><th>基礎砕石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生下の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="12">(表 3.3)</td><td rowspan="6">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="12">(表 3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生(緑炭・ジョットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジョットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>養生工無し</td></tr><tr><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(緑炭・ジョットヒータ)</td></tr><tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="2">無し</td><td>仮囲い内ジョットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無し</td></tr><tr><td rowspan="5">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生(緑炭・ジョットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内ジョットヒータ養生</td></tr><tr><td>養生工無し</td></tr></table>				コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生下の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生(緑炭・ジョットヒータ)	仮囲い内ジョットヒータ養生	有り	養生工無し	一般養生	特殊養生(緑炭・ジョットヒータ)	有り	無し	仮囲い内ジョットヒータ養生	養生工無し	有り	一般養生	特殊養生(緑炭・ジョットヒータ)	仮囲い内ジョットヒータ養生	養生工無し
コンクリート規格	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生下の種類	圧送管延長距離区分																								
(表 3.3)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																								
			特殊養生(緑炭・ジョットヒータ)																									
			仮囲い内ジョットヒータ養生																									
		有り	養生工無し																									
			一般養生																									
			特殊養生(緑炭・ジョットヒータ)																									
	有り	無し	仮囲い内ジョットヒータ養生																									
			養生工無し																									
		有り	一般養生																									
			特殊養生(緑炭・ジョットヒータ)																									
			仮囲い内ジョットヒータ養生																									
			養生工無し																									

(注) 1. 上表は、もたれ式擁壁(擁壁平均高さ3.0m以上8.0m以下)のコンクリート、型枠(はく離剤塗布及びケレン作業含む)、基礎材、均しコンクリート、足場工、目地材(ひび割れ誘発目地を除く)、水抜きパイプ、吸出し防止材(点在)、養生(一般養生・特殊養生(緑炭)、特殊養生(ジョットヒータ)、仮囲い内ジョットヒータ養生)、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具(コンクリートパイプレータ、工事中用中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパ等)の損料、コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。ただし、化粧型枠は含まない。

2. コンクリートの材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.04)

 現行どおり 現行どおり | | | | 記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う) | || 積算上の注意事項 | | | | | | | | (控え頁) 9/11 | |

改 正 理 由	一部改正	改 正																													
		現 行																													
現 行		改 正		備 考																											
3－4 逆T型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3.10 逆T型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>コンクリート規格</th><th>鉄筋量</th><th>基礎砕石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="12">(表 3.3)</td><td rowspan="12">(表 3.11)</td><td rowspan="6">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="12">(表 3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr></table> (注) 1. 上表は、逆T型擁壁（擁壁平均高さ3.0m以上10.0m以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びクレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、日地材（ひび割れ誘発日地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ペーラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホップ等）の損料、コンクリートポンプ車のホースの簡先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②－1型枠工3－2化粧型枠」により別途計上すること。 5. ペーラインコンクリートの材料費については、「3－8ペーラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は、「第Ⅵ編第2章①－2鉄筋工（ガス圧接工）」により別途計上する。 7. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工③－2雪寒仮囲い工」により別途計上する。		コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	現行どおり 現行どおり		記載の修正・削除（歩掛改定に伴う）
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																										
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																										
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																											
			有り	一般養生																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																											
		有り	無し	一般養生																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																											
			有り	一般養生																											
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																											
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																											
積算上の注意事項				(控え頁) 10／11																											

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行																														
現 行				改 正				備 考																												
3－5 L型擁壁 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 13 L型擁壁 積算条件区分一覧 (積算単位：m3) <table><tr><th>コンクリート規格</th><th>鉄筋量</th><th>基礎砕石の有無</th><th>均しコンクリートの有無</th><th>養生工の種類</th><th>圧送管延長距離区分</th></tr><tr><td rowspan="12">(表 3.3)</td><td rowspan="12">(表 3.11)</td><td rowspan="6">無し</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td><td rowspan="12">(表 3.6)</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="6">有り</td><td rowspan="3">無し</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr><tr><td rowspan="3">有り</td><td>一般養生</td></tr><tr><td>特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)</td></tr><tr><td>仮囲い内 ジェットヒータ養生</td></tr></table> (注) 1. 上表は、L型擁壁（擁壁平均高さ 3.0m 以上 7.0m 以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ベールラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプブレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、シュート、ホッパー等）の損料、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 2. コンクリート・鉄筋の材料ロスを含む。標準ロス率は、コンクリートが+0.02、鉄筋が+0.03 とする。 3. 設計数量は、つま先版、かかと版、突起を含む擁壁本体コンクリートの数量とする。 4. 化粧型枠については加算費用を、「第Ⅱ編第4章コンクリート工②-1 型枠工3－2 化粧型枠」により別途計上すること。 5. ベールラインコンクリートの材料費については、「3－8ベールラインコンクリート（材料費）」により別途計上すること。 6. ガス圧接が必要な場合は、「第Ⅵ編第2章①-2 鉄筋工（ガス圧接工）」により別途計上する。 7. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより異なる場合は別途考慮する。 8. 擁壁平均高さは、擁壁の前面勾配あるいは背面勾配、天端幅、擁壁種類が同一の構造形式のブロックにて判断すること。 9. 「仮囲い内ジェットヒータ養生」の場合には「足場」費用は含んでいない。「第Ⅱ編第5章仮設工③-2 雪寒仮囲い工」により別途計上する。				コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分	(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	無し	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	有り	一般養生	特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)	仮囲い内 ジェットヒータ養生	現行どおり (注) 1. 上表は、L型擁壁（擁壁平均高さ 3.0m 以上 7.0m 以下）のコンクリート、型枠（はく離剤塗布及びケレン作業含む）、鉄筋、基礎材、均しコンクリート、手摺先行型枠組足場、目地材（ひび割れ誘発目地を除く）、水抜きパイプ、吸出し防止材（点在）、養生（一般養生、特殊養生（練炭・ジェットヒータ）、仮囲い内ジェットヒータ養生）、圧送管の組立・撤去、ベールラインコンクリートの施工の他、雑機械器具（コンクリートパイプブレータ、工事用水中モータポンプ、電気ドリル、電気ノコギリ、化粧型枠コンクリートバケット等）の損料、電力に関する経費、コンクリートポンプ車のホースの筒先作業等を行う機械付補助労務等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、化粧型枠は含まない。 現行どおり				記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）	
コンクリート規格	鉄筋量	基礎砕石の有無	均しコンクリートの有無	養生工の種類	圧送管延長距離区分																															
(表 3.3)	(表 3.11)	無し	無し	一般養生	(表 3.6)																															
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																
			有り	一般養生																																
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																
		有り	無し	一般養生																																
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																
			有り	一般養生																																
				特殊養生 (練炭・ジェットヒータ)																																
				仮囲い内 ジェットヒータ養生																																
積算上の注意事項								(控え頁)																												

11／11

工 種	プレキャスト擁壁工
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正	改 正	備 考
		現 行	
現 行		改 正	
⑥ プレキャスト擁壁工 1. 適 用 範 囲 本資料は、次に示すプレキャスト擁壁の施工に適用する。 1－1 適用出来る範囲（以下の全ての条件に該当する場合） （1）擁壁の形式：L型、逆T型、側溝付、天端勾配カット、ブロック分割型、嵩上品 ※天端勾配カットとは製品天端を斜めにカットしたタイプ ※嵩上品とは嵩上コンクリート打継ぎ用に差筋を配したタイプ （2）擁壁の高さ：0.5m以上 5.0m以下 天端勾配カットは中央値、嵩上品はブロック高さ（差筋を含まない）とする。 （3）ブロック単体の長さ：2.0m／個 2. 施 工 概 要 2－1 施工フロー 施工フローは、下記を標準とする。 床掘り 基礎石 均しコンクリート 敷モルタル ブロックヤス付 ブロック接合 目地モルタル詰 吸出し防止材設置 埋戻し （注） 1．本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2．本施工パッケージには、撤去は含まれていない。 II-2-⑥-1		現行どおり （3）ブロック単体の長さ：2.0m／個 ブロック単体の長さとは、一連のプレキャスト擁壁の標準的な1部材の有効長であり、有効長未満の部材及び短尺、片斜切等の特殊加工部材が含まれる場合も適用できる。 現行どおり	記載の変更
積算上の注意事項			（控え頁） 1／2

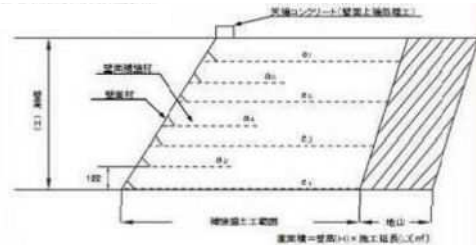
工 種	プレキャスト擁壁工
-----	-----------

改 正 理 由	一部改正			改 正																																																																																																																																														
現 行					現 行																																																																																																																																													
現 行					備 考																																																																																																																																													
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3. 2 プレキャスト擁壁設置 代表機材規格一覧 <table><tr><th>プレキャスト 擁壁高さ</th><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="13">0.5m 以上 2.0m 以下</td><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・ クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値） 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 —</td><td></td></tr><tr><td>K 3 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4 運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">材料</td><td>Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1000 型（L=2.0m）</td><td>プレキャスト擁壁高 さ 0.5m 以上 1.0m 以 下の場合</td></tr><tr><td>コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1600 型（L=2.0m）</td><td>プレキャスト擁壁高 さ 1.0m を超え 2.0m 以 下の場合</td></tr><tr><td>Z 2 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 —</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="13">2.0m を超え 5.0m 以下</td><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第3次基準値）〕 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 —</td><td></td></tr><tr><td>K 3 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">材料</td><td>Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 2500 型（L=2.0m）</td><td>プレキャスト擁壁高 さ 2.0m を超え 3.5m 以 下の場合</td></tr><tr><td>コンクリート擁壁（中地震対応型） ハイツタッチウォール宅認（q=10kN/㎡2） 4250 型（L=2.0m）</td><td>プレキャスト擁壁高 さ 3.5m を超え 5.0m 以 下の場合</td></tr><tr><td>Z 2 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 —</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S —</td><td></td></tr></table>					プレキャスト 擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考	0.5m 以上 2.0m 以下	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・ クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値） 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手（特殊）		材料	Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1000 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 0.5m 以上 1.0m 以 下の場合	コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1600 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 1.0m を超え 2.0m 以 下の場合	Z 2 軽油 バトロール給油		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		2.0m を超え 5.0m 以下	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第3次基準値）〕 25t 吊	賃料	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 —		材料	Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 2500 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 2.0m を超え 3.5m 以 下の場合	コンクリート擁壁（中地震対応型） ハイツタッチウォール宅認（q=10kN/㎡2） 4250 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 3.5m を超え 5.0m 以 下の場合	Z 2 —		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 表3. 2 プレキャスト擁壁設置 代表機材規格一覧 <table><tr><th>プレキャスト 擁壁高さ</th><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="13">0.5m 以上 2.0m 以下</td><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準 値・2014 年規制） 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 —</td><td></td></tr><tr><td>K 3 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4 運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">材料</td><td>Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1000 型（L=2.0m）</td><td>プレキャスト擁壁高 さ 0.5m 以上 1.0m 以 下の場合</td></tr><tr><td>コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1600 型（L=2.0m）</td><td>プレキャスト擁壁高 さ 1.0m を超え 2.0m 以 下の場合</td></tr><tr><td>Z 2 軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 —</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="13">2.0m を超え 5.0m 以下</td><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第3次基準値・2014 年規制）〕 25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 —</td><td></td></tr><tr><td>K 3 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3 特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4 —</td><td></td></tr><tr><td rowspan="5">材料</td><td>Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 2500 型（L=2.0m）</td><td>プレキャスト擁壁高 さ 2.0m を超え 3.5m 以 下の場合</td></tr><tr><td>コンクリート擁壁（中地震対応型） ハイツタッチウォール宅認（q=10kN/㎡2） 4250 型（L=2.0m）</td><td>プレキャスト擁壁高 さ 3.5m を超え 5.0m 以 下の場合</td></tr><tr><td>Z 2 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 —</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 —</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S —</td><td></td></tr></table>					プレキャスト 擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考	0.5m 以上 2.0m 以下	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス対策型（ 第3次基準 値・2014 年規制 ） 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 運転手（特殊）		材料	Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1000 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 0.5m 以上 1.0m 以 下の場合	コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1600 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 1.0m を超え 2.0m 以 下の場合	Z 2 軽油 バトロール給油		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		2.0m を超え 5.0m 以下	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（ 第3次基準値・2014 年規制 ）〕 25t 吊	賃料	K 2 —		K 3 —		労務	R 1 普通作業員		R 2 土木一般世話役		R 3 特殊作業員		R 4 —		材料	Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 2500 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 2.0m を超え 3.5m 以 下の場合	コンクリート擁壁（中地震対応型） ハイツタッチウォール宅認（q=10kN/㎡2） 4250 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 3.5m を超え 5.0m 以 下の場合	Z 2 —		Z 3 —		Z 4 —		市場単価	S —		記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）				
プレキャスト 擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																															
0.5m 以上 2.0m 以下	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・ クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値） 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																															
		K 2 —																																																																																																																																																
		K 3 —																																																																																																																																																
	労務	R 1 普通作業員																																																																																																																																																
		R 2 土木一般世話役																																																																																																																																																
		R 3 特殊作業員																																																																																																																																																
		R 4 運転手（特殊）																																																																																																																																																
	材料	Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1000 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 0.5m 以上 1.0m 以 下の場合																																																																																																																																															
		コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1600 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 1.0m を超え 2.0m 以 下の場合																																																																																																																																															
		Z 2 軽油 バトロール給油																																																																																																																																																
		Z 3 —																																																																																																																																																
		Z 4 —																																																																																																																																																
	市場単価	S —																																																																																																																																																
2.0m を超え 5.0m 以下	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（第3次基準値）〕 25t 吊	賃料																																																																																																																																															
		K 2 —																																																																																																																																																
		K 3 —																																																																																																																																																
	労務	R 1 普通作業員																																																																																																																																																
		R 2 土木一般世話役																																																																																																																																																
		R 3 特殊作業員																																																																																																																																																
		R 4 —																																																																																																																																																
	材料	Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 2500 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 2.0m を超え 3.5m 以 下の場合																																																																																																																																															
		コンクリート擁壁（中地震対応型） ハイツタッチウォール宅認（q=10kN/㎡2） 4250 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 3.5m を超え 5.0m 以 下の場合																																																																																																																																															
		Z 2 —																																																																																																																																																
		Z 3 —																																																																																																																																																
		Z 4 —																																																																																																																																																
	市場単価	S —																																																																																																																																																
プレキャスト 擁壁高さ	項目	代表機材規格	備考																																																																																																																																															
0.5m 以上 2.0m 以下	機械	K 1 バックホウ（クローラ型）〔標準型・ 超低騒音型 ・クレーン機能付・排出ガス対策型（ 第3次基準 値・2014 年規制 ） 山積 0.8m3（平積 0.6m3） 吊能力 2.9t	賃料																																																																																																																																															
		K 2 —																																																																																																																																																
		K 3 —																																																																																																																																																
	労務	R 1 普通作業員																																																																																																																																																
		R 2 土木一般世話役																																																																																																																																																
		R 3 特殊作業員																																																																																																																																																
		R 4 運転手（特殊）																																																																																																																																																
	材料	Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1000 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 0.5m 以上 1.0m 以 下の場合																																																																																																																																															
		コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 1600 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 1.0m を超え 2.0m 以 下の場合																																																																																																																																															
		Z 2 軽油 バトロール給油																																																																																																																																																
		Z 3 —																																																																																																																																																
		Z 4 —																																																																																																																																																
	市場単価	S —																																																																																																																																																
2.0m を超え 5.0m 以下	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型（ 第3次基準値・2014 年規制 ）〕 25t 吊	賃料																																																																																																																																															
		K 2 —																																																																																																																																																
		K 3 —																																																																																																																																																
	労務	R 1 普通作業員																																																																																																																																																
		R 2 土木一般世話役																																																																																																																																																
		R 3 特殊作業員																																																																																																																																																
		R 4 —																																																																																																																																																
	材料	Z 1 コンクリート擁壁（中地震対応型） 宅認（q=10kN/㎡2） 2500 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 2.0m を超え 3.5m 以 下の場合																																																																																																																																															
		コンクリート擁壁（中地震対応型） ハイツタッチウォール宅認（q=10kN/㎡2） 4250 型（L=2.0m）	プレキャスト擁壁高 さ 3.5m を超え 5.0m 以 下の場合																																																																																																																																															
		Z 2 —																																																																																																																																																
		Z 3 —																																																																																																																																																
		Z 4 —																																																																																																																																																
	市場単価	S —																																																																																																																																																
積算上の注意事項					（控え頁） 2 / 2																																																																																																																																													

工 種	補強盛土工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正	改 正 現 行																																																																
現 行			改 正	備 考																																																															
3. 施工パッケージ 3-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 (1) 条件区分 ジオテキスタイル壁面材組立・設置に積算条件区分はない。 積算単位は、㎡とする。 (注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強工の壁面材の組立・設置、吸出し防止材の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル壁面材（材料費）及び吸出し防止材の材料費は含まない。 2. ジオテキスタイル壁面材及び吸出し防止材の材料費は別途計上する。 3. 適用される壁面材の種類は、表3. 2のとおりとする。 4. 施工量は、直面積（壁高×施工延長）とする（図3-1 参考図参照）。 (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 代表機材規格一覧</caption><tr><th>項目</th><th colspan="2">代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table> <table><caption>表3. 2 壁面材の種類</caption><tr><th rowspan="2">壁面材種類</th><th colspan="2">規 格</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>幅 (mm)</th><th>一層当り施工高</th></tr><tr><td rowspan="4">鋼製枠タイプ</td><td>2,000</td><td>500mm 以下</td><td>タイプ A</td></tr><tr><td>2,000</td><td>600mm 以下</td><td>タイプ B</td></tr><tr><td>1,000</td><td>600mm 以下</td><td>タイプ C</td></tr><tr><td>1,200</td><td>600mm 以下</td><td>タイプ D</td></tr></table> (注) 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮する。 3-2 ジオテキスタイル壁面材（材料費） (1) 条件区分 ジオテキスタイル壁面材（材料費）に積算条件区分はない。 積算単位は、㎡とする。 (注) 壁面材の材料使用量は、「4. 参考資料」を参考に㎡当り数量を算出する。 Ⅱ-2-⑧-2			項目	代表機材規格		備考	機械	K1	—		K2	—		K3	—		労務	R1	普通作業員		R2	土木一般世話役		R3	特殊作業員		R4	—		材料	Z1	—		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		壁面材種類	規 格		備 考	幅 (mm)	一層当り施工高	鋼製枠タイプ	2,000	500mm 以下	タイプ A	2,000	600mm 以下	タイプ B	1,000	600mm 以下	タイプ C	1,200	600mm 以下	タイプ D	3. 施工パッケージ 3-1 ジオテキスタイル壁面材組立・設置 (1) 条件区分 ジオテキスタイル壁面材組立・設置に積算条件区分はない。 積算単位は、㎡とする。 (注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強盛土工の壁面材の組立・設置、吸出し防止材の設置等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル壁面材（材料費）及び吸出し防止材の材料費は含まない。 2. ジオテキスタイル壁面材及び吸出し防止材の材料費は別途計上する。 3. 適用される壁面材の種類は、表3. 2のとおりとする。 4. 施工量は、直面積（壁高×施工延長）とする（図3-1 参考図参照）。 現行どおり	記載の変更
項目	代表機材規格		備考																																																																
機械	K1	—																																																																	
	K2	—																																																																	
	K3	—																																																																	
労務	R1	普通作業員																																																																	
	R2	土木一般世話役																																																																	
	R3	特殊作業員																																																																	
	R4	—																																																																	
材料	Z1	—																																																																	
	Z2	—																																																																	
	Z3	—																																																																	
	Z4	—																																																																	
市場単価	S	—																																																																	
壁面材種類	規 格		備 考																																																																
	幅 (mm)	一層当り施工高																																																																	
鋼製枠タイプ	2,000	500mm 以下	タイプ A																																																																
	2,000	600mm 以下	タイプ B																																																																
	1,000	600mm 以下	タイプ C																																																																
	1,200	600mm 以下	タイプ D																																																																
積算上の注意事項				(控え頁) 1／4																																																															

工 種	補強盛土工
-----	-------

改 正 理 由		一 部 改 正		改 正		現 行		備 考																																			
現 行				改 正				備 考																																			
3-3 ジオテキスタイル敷設 (1) 条件区分 ジオテキスタイル敷設に積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 (注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強工のジオテキスタイルの敷設（ジオテキスタイル巻き込み作業含む）の他、ジオテキスタイル敷設に使用する杭、ハンマ、スコップ、パール等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル（材料費）は含まない。 2. ジオテキスタイルの材料費は別途計上する。 3. ジオテキスタイルの敷設面積の算出については、次式の通りとする。 ジオテキスタイル敷設面積（m2）＝a 1 + a 2 + a 3…… a 1, a 2, a 3……: ジオテキスタイル工1段当り敷設面積（m2）(図3-1 参考図参照) 4. ジオテキスタイル工1段当り敷設面積には、壁面補強材の面積も含み、巻き込み部の面積は含まないものとする。  図3-1 補強盛土工標準断面図(参考図) (2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3.3 ジオテキスタイル敷設 代表機材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機 械</td><td>K1</td><td>—</td></tr><tr><td>K2</td><td>—</td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">労 務</td><td>R1</td><td>普通作業員</td></tr><tr><td>R2</td><td>土木 般世話役</td></tr><tr><td>R3</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td>R4</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">材 料</td><td>Z1</td><td>—</td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table> II-2-⑧-3				表3.3 ジオテキスタイル敷設 代表機材規格一覧			項目	代表機材規格	備考	機 械	K1	—	K2	—	K3	—	労 務	R1	普通作業員	R2	土木 般世話役	R3	特殊作業員	R4	—	材 料	Z1	—	Z2	—	Z3	—	Z4	—	市場単価	S	—	3-3 ジオテキスタイル敷設 (1) 条件区分 ジオテキスタイル敷設に積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 (注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強盛土工のジオテキスタイルの敷設（ジオテキスタイル巻き込み作業含む）の他、ジオテキスタイル敷設に使用する杭、ハンマ、スコップ、パール等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、ジオテキスタイル（材料費）は含まない。 2. ジオテキスタイルの材料費は別途計上する。 3. ジオテキスタイルの敷設面積の算出については、次式の通りとする。 ジオテキスタイル敷設面積（m2）＝a 1 + a 2 + a 3…… a 1, a 2, a 3……: ジオテキスタイル工1段当り敷設面積（m2）(図3-1 参考図参照) 4. ジオテキスタイル工1段当り敷設面積には、壁面補強材の面積も含み、巻き込み部の面積は含まないものとする。 現行どおり				記載の変更	
表3.3 ジオテキスタイル敷設 代表機材規格一覧																																											
項目	代表機材規格	備考																																									
機 械	K1	—																																									
	K2	—																																									
	K3	—																																									
労 務	R1	普通作業員																																									
	R2	土木 般世話役																																									
	R3	特殊作業員																																									
	R4	—																																									
材 料	Z1	—																																									
	Z2	—																																									
	Z3	—																																									
	Z4	—																																									
市場単価	S	—																																									
積算上の注意事項								(控え頁) 2 / 4																																			

工 種	補強盛土工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正		改 正	備 考																																											
	現	行	改 正																																												
3－4 まき出し・敷均し、締固め (1) 条件区分 まき出し・敷均し、締固めに積算条件区分はない。 積算単位は、m3 とする。 (注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強工のまき出し、敷均し・締固め、水平排水材、層厚管理材の設置の他、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンバ及びランマの運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、水平排水材、層厚管理材及び盛土材の材料費は含まない。 2. 水平排水材、層厚管理材の材料費は別途計上する。 3. ジオテキスタイル工1段当りのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。 4. ジオテキスタイル盛土工範囲（図3－1 参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。 5. 現場発生土の粒径処理等が必要な場合は、別途計上する。		3－4 まき出し・敷均し、締固め (1) 条件区分 まき出し・敷均し、締固めに積算条件区分はない。 積算単位は、m3 とする。 (注) 1. ジオテキスタイルを用いた補強土壁工及び盛土補強盛土工のまき出し、敷均し・締固め、水平排水材、層厚管理材の設置の他、振動ローラ（ハンドガイド式）、タンバ及びランマの運転経費等、その施工に要する全ての費用を含む。ただし、水平排水材、層厚管理材及び盛土材の材料費は含まない。 2. 水平排水材、層厚管理材の材料費は別途計上する。 3. ジオテキスタイル工1段当りのまき出し厚さ及び締固め回数に関係なく適用する。 4. ジオテキスタイル補強盛土工範囲（図3－1 参考図参照）の盛土材については、必要に応じて別途計上する。 5. 現場発生土の粒径処理等が必要な場合は、別途計上する。		記載の変更																																											
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 <table><caption>表3. 4 まき出し・敷均し、締固め 代表機労材規格一覧</caption><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K1</td><td>バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（2011 年規制）】 山積 0.5m3（平積 0.4m3）</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K2</td><td>振動ローラ（舗装用）【搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3 次基準値）】運転質量 3～4 t</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R1</td><td>運転手（特殊）</td><td></td></tr><tr><td>R2</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R4</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z1</td><td>軽油 バトロール給油</td><td></td></tr><tr><td>Z2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>		項目			代表機労材規格	備考	機械	K1	バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（2011 年規制）】 山積 0.5m3（平積 0.4m3）	賃料	K2	振動ローラ（舗装用）【搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3 次基準値）】運転質量 3～4 t	賃料	K3	—		労務	R1	運転手（特殊）		R2	普通作業員		R3	特殊作業員		R4	土木一般世話役		材料	Z1	軽油 バトロール給油		Z2	—		Z3	—		Z4	—		市場単価	S	—		現行どおり
項目		代表機労材規格	備考																																												
機械	K1	バックホウ（クローラ型）【標準型・排出ガス対策型（2011 年規制）】 山積 0.5m3（平積 0.4m3）	賃料																																												
	K2	振動ローラ（舗装用）【搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第3 次基準値）】運転質量 3～4 t	賃料																																												
	K3	—																																													
労務	R1	運転手（特殊）																																													
	R2	普通作業員																																													
	R3	特殊作業員																																													
	R4	土木一般世話役																																													
材料	Z1	軽油 バトロール給油																																													
	Z2	—																																													
	Z3	—																																													
	Z4	—																																													
市場単価	S	—																																													
3－5 ジオテキスタイル（材料費） (1) 条件区分 ジオテキスタイル（材料費）に積算条件区分はない。 積算単位は、m2 とする。 (注) 施工量は、巻込み部、重ね合わせ等を含んだジオテキスタイル必要面積を計上する。				(控え頁)																																											
3－6 排水管敷設工 排水管敷設工を施工する場合は、「第Ⅱ編第2 章④－1 排水構造物工」暗渠排水管により別途計上する。																																															
積算上の注意事項		Ⅱ-2-③-4		3／4																																											

工 種	補強盛土工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正			改 正																																			
		現 行																																					
現 行		改 正			備 考																																		
5. 施工単価入力基準表 (1) ジオテキスタイル壁面材組立・設置 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222240</td><td>施 工 単 位</td><td>m2</td></tr></table> (2) ジオテキスタイル壁面材（材料費） <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222241</td><td>施 工 単 位</td><td>m2</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各 種</td><td colspan="3">J 1</td></tr><tr><td colspan="3">m2 当り規格別使用量</td></tr><tr><td colspan="3">(個/m2) (実数入力)</td></tr></table> (注) 1. 鋼製枠タイプ別単価 (Y-0570000) [円／個]を単価登録すること。 2. J 1 条件の使用量は、「4.参考資料」を参考にする。 (3) ジオテキスタイル敷設 <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222260</td><td>施 工 単 位</td><td>m2</td></tr></table> (注) 施工量は、ジオテキスタイル敷設面積（「3－3 ジオテキスタイル敷設の注3 参照」）を計上する。 (4) まき出し・敷均し、締固め <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222270</td><td>施 工 単 位</td><td>m3</td></tr></table> (注) ジオテキスタイル工盛土工範囲（「3－3 ジオテキスタイル敷設」の図3－1 参考図参照）の盛土材については、別途計上する。 (5) ジオテキスタイル（材料費） <table><tr><td>パッケージコード</td><td>CB222250</td><td>施 工 単 位</td><td>m2</td></tr></table> (注) 1. 施工量は、巻込み部、重ね合わせ等を含んだジオテキスタイル必要面積を計上する。 2. ジオテキスタイル単価 (Y-0572000) [円／m2]を単価登録すること。 II-2-⑧-8		パッケージコード	CB222240	施 工 単 位	m2	パッケージコード	CB222241	施 工 単 位	m2	施工区分	入 力 条 件			各 種	J 1			m2 当り規格別使用量			(個/m2) (実数入力)			パッケージコード	CB222260	施 工 単 位	m2	パッケージコード	CB222270	施 工 単 位	m3	パッケージコード	CB222250	施 工 単 位	m2	現行どおり 現行どおり			記載の変更
パッケージコード	CB222240	施 工 単 位	m2																																				
パッケージコード	CB222241	施 工 単 位	m2																																				
施工区分	入 力 条 件																																						
各 種	J 1																																						
	m2 当り規格別使用量																																						
	(個/m2) (実数入力)																																						
パッケージコード	CB222260	施 工 単 位	m2																																				
パッケージコード	CB222270	施 工 単 位	m3																																				
パッケージコード	CB222250	施 工 単 位	m2																																				
積算上の注意事項				(控え頁)																																			
				4／4																																			

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行		備 考							
現 行				改 正									
(2) 代表機劣材規格 下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。				(2) 代表機劣材規格 下表機劣材は、当該施工パッケージで使用されている機劣材の代表的な規格である。				記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)					
表3. 10 ボックスカルバート 代表機劣材規格一覧				表3. 10 ボックスカルバート 代表機劣材規格一覧									
項目		代表機劣材規格		項目		代表機劣材規格		備考					
機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合	機械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値2011年規制)] 25 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 以下の場合	・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合					
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	・賃料 ・内空高 2.5m 超の場合										
		K 2	—			K 2	—						
		K 3	—			K 3	—						
労務	R 1	普通作業員		労務	R 1	普通作業員							
	R 2	土木一般世話役			R 2	土木一般世話役							
	R 3	特殊作業員			R 3	特殊作業員							
	R 4	—			R 4	—							
材料	Z 1	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m≤H≤2.5mの場合	材料	Z 1	ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m≤H≤2.5mの場合	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合					
		ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合			ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.0m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m<H≤2.5mの場合						
		ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合			ボックスカルバート R C B1500×H1000×L1500 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合						
		ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合			ボックスカルバート R C B1500×H1500×L1500 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合						
		ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m≤H≤2.5mの場合			ボックスカルバート R C B3000×H2000×L1500 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m<B≤3.75m, 1.25m≤H≤2.5mの場合						
		ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m≤B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合			ボックスカルバート R C B3000×H3000×L1500 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.5m/個で、内空幅・内空高が2.5m≤B≤3.75m, 2.5m<H≤3.75mの場合						
		ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合			ボックスカルバート R C B600×H600×L2000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 0m<H≤1.25mの場合						
		ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合			ボックスカルバート R C B1500×H1000×L2000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 0m<H≤1.25mの場合						
		ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合			ボックスカルバート R C B1000×H1500×L2000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が0m<B≤1.25m, 1.25m<H≤2.5mの場合						
		ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が2.0m/個で、内空幅・内空高が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合			ボックスカルバート R C B1500×H1500×L2000 T-25 土盛り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が1.25m<B≤2.5m, 1.25m<H≤2.5mの場合						
		Z 2	—			Z 2	—						
		Z 3	—			Z 3	—						
		Z 4	—			Z 4	—						
		市場単価	S			—	市場単価		S	—			
		II-2-⑩-11				II-2-⑩-11							
		積算上の注意事項				(控え頁)				1/2			

工 種	排水構造物工
-----	--------

改 正 理 由	一部改正		改 正																									
			現 行																									
現 行		改 正		備 考																								
3－6 プレキャスト集水樹 (1) 条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 17 プレキャスト集水樹 積算条件区分一覧 (積算単位：基) <table><tr><th>作業区分</th><th>製品質量(kg/基)</th><th>基礎碎石の有無</th></tr><tr><td>据付</td><td rowspan="3">(表3. 18)</td><td>(表3. 4)</td></tr><tr><td>撤去</td><td>－</td></tr><tr><td>据付・撤去</td><td>(表3. 4)</td></tr></table> (注) 1. 上表は、プレキャスト集水樹（蓋版を含む）の設置、基礎材、敷砂又は敷モルタル、運搬距離 30 m程度までの現場内小運搬等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、集水樹（材料費）は含まない。 2. 蓋版の有無にかかわらず適用出来る。 3. 基礎碎石の数均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。 4. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。 5. 基礎碎石は、材料の種類・規格にかかわらず適用出来る。 6. 集水樹の材料費は、別途計上する。 7. 基面整正は含まない。 表3. 18 製品質量 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="10">製品質量 (kg/基)</td><td>50kg 以上 80kg 以下</td></tr><tr><td>80kg を超え 200kg 以下</td></tr><tr><td>200kg を超え 400kg 以下</td></tr><tr><td>400kg を超え 600kg 以下</td></tr><tr><td>600kg を超え 800kg 以下</td></tr><tr><td>800kg を超え 1,200kg 以下</td></tr><tr><td>1,200kg を超え 1,600kg 以下</td></tr><tr><td>1,600kg を超え 2,200kg 以下</td></tr><tr><td>2,200kg を超え 2,800kg 以下</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> II-2-⑩-16		作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無	据付	(表3. 18)	(表3. 4)	撤去	－	据付・撤去	(表3. 4)	積算条件	区分	製品質量 (kg/基)	50kg 以上 80kg 以下	80kg を超え 200kg 以下	200kg を超え 400kg 以下	400kg を超え 600kg 以下	600kg を超え 800kg 以下	800kg を超え 1,200kg 以下	1,200kg を超え 1,600kg 以下	1,600kg を超え 2,200kg 以下	2,200kg を超え 2,800kg 以下			現行どおり 現行どおり		記載の変更
作業区分	製品質量(kg/基)	基礎碎石の有無																										
据付	(表3. 18)	(表3. 4)																										
撤去		－																										
据付・撤去		(表3. 4)																										
積算条件	区分																											
製品質量 (kg/基)	50kg 以上 80kg 以下																											
	80kg を超え 200kg 以下																											
	200kg を超え 400kg 以下																											
	400kg を超え 600kg 以下																											
	600kg を超え 800kg 以下																											
	800kg を超え 1,200kg 以下																											
	1,200kg を超え 1,600kg 以下																											
	1,600kg を超え 2,200kg 以下																											
	2,200kg を超え 2,800kg 以下																											
積算上の注意事項				(控え頁) 2／2																								

改 正 理 由		一部改正				改 正 現 行																																																																																																																																																																													
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																											
3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。				3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。				記載の修正																																																																																																																																																																											
表3. 1 機種 の 選 定				表3. 1 機種 の 選 定																																																																																																																																																																															
<table><tr><th rowspan="3">機械名</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単 位</th><th colspan="2">単 軸 施 工</th><th colspan="3">二 軸 施 工</th><th rowspan="3">摘要</th></tr><tr><th>φ800mm～ φ1,200mm</th><th>φ1,000mm～ φ1,600mm</th><th>φ1,800mm φ2,000mm</th><th colspan="2">φ1,000mm</th></tr><tr><th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th><th>打設長(L) 10mを超え 30m以下</th><th>打設長(L) 3mを超え 27m以下</th><th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th><th>打設長(L) 10mを超え 20m以下</th><th>打設長(L) 20mを超え 40m以下</th></tr><tr><td rowspan="6">深 層 混 合 機 (スラリー式)</td><td>単軸式 小型地盤改良機 27.4kN・m</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>単軸式 90～ 110kW×1</td><td>n</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>単軸式 90kW ×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>二軸式 45kW ×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>二軸式 55～ 60kW×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td></tr><tr><td>二軸式 90kW ×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">スラリプラント (全 自 動)</td><td>能力10m³/h</td><td>基</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>能力20m³/h</td><td>n</td><td>—</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>				機械名	規 格	単 位	単 軸 施 工			二 軸 施 工			摘要	φ800mm～ φ1,200mm	φ1,000mm～ φ1,600mm	φ1,800mm φ2,000mm	φ1,000mm		打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 30m以下	打設長(L) 3mを超え 27m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 40m以下	深 層 混 合 機 (スラリー式)	単軸式 小型地盤改良機 27.4kN・m	台	1	—	—	—	—	—	単軸式 90～ 110kW×1	n	—	1	—	—	—	—	単軸式 90kW ×2	n	—	—	1	—	—	—	二軸式 45kW ×2	n	—	—	—	1	—	—	二軸式 55～ 60kW×2	n	—	—	—	—	1	—	二軸式 90kW ×2	n	—	—	—	—	—	1	スラリプラント (全 自 動)	能力10m³/h	基	1	—	—	—	—	—	能力20m³/h	n	—	1	1	1	1	1	<table><tr><th rowspan="3">機械名</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単 位</th><th colspan="2">単 軸 施 工</th><th colspan="3">二 軸 施 工</th><th rowspan="3">摘要</th></tr><tr><th>φ800mm～ φ1,200mm</th><th>φ1,000mm～ φ1,600mm</th><th>φ1,800mm φ2,000mm</th><th colspan="2">φ1,000mm</th></tr><tr><th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th><th>打設長(L) 10mを超え 30m以下</th><th>打設長(L) 3mを超え 27m以下</th><th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th><th>打設長(L) 10mを超え 20m以下</th><th>打設長(L) 20mを超え 40m以下</th></tr><tr><td rowspan="6">深 層 混 合 機 (スラリー式)</td><td>単軸式 小型地盤改良機 27.4kN・m</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>単軸式 90～ 110kW×1</td><td>n</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>単軸式 90kW ×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>二軸式 45kW ×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>二軸式 55～ 60kW×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td></tr><tr><td>二軸式 90kW ×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">スラリプラント (全 自 動)</td><td>能力10m³/h</td><td>基</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>能力20m³/h</td><td>n</td><td>—</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr></table>				機械名	規 格	単 位	単 軸 施 工		二 軸 施 工			摘要	φ800mm～ φ1,200mm	φ1,000mm～ φ1,600mm	φ1,800mm φ2,000mm	φ1,000mm		打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 30m以下	打設長(L) 3mを超え 27m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 40m以下	深 層 混 合 機 (スラリー式)	単軸式 小型地盤改良機 27.4kN・m	台	1	—	—	—	—	—	単軸式 90～ 110kW×1	n	—	1	—	—	—	—	単軸式 90kW ×2	n	—	—	1	—	—	—	二軸式 45kW ×2	n	—	—	—	1	—	—	二軸式 55～ 60kW×2	n	—	—	—	—	1	—	二軸式 90kW ×2	n	—	—	—	—	—	1	スラリプラント (全 自 動)	能力10m³/h	基	1	—	—	—	—	—	能力20m³/h	n	—	1	1	1	1
機械名	規 格	単 位	単 軸 施 工				二 軸 施 工			摘要																																																																																																																																																																									
			φ800mm～ φ1,200mm				φ1,000mm～ φ1,600mm	φ1,800mm φ2,000mm	φ1,000mm																																																																																																																																																																										
			打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 30m以下	打設長(L) 3mを超え 27m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 40m以下																																																																																																																																																																											
深 層 混 合 機 (スラリー式)	単軸式 小型地盤改良機 27.4kN・m	台	1	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																											
	単軸式 90～ 110kW×1	n	—	1	—	—	—	—																																																																																																																																																																											
	単軸式 90kW ×2	n	—	—	1	—	—	—																																																																																																																																																																											
	二軸式 45kW ×2	n	—	—	—	1	—	—																																																																																																																																																																											
	二軸式 55～ 60kW×2	n	—	—	—	—	1	—																																																																																																																																																																											
	二軸式 90kW ×2	n	—	—	—	—	—	1																																																																																																																																																																											
スラリプラント (全 自 動)	能力10m³/h	基	1	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																											
	能力20m³/h	n	—	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																											
機械名	規 格	単 位	単 軸 施 工		二 軸 施 工			摘要																																																																																																																																																																											
			φ800mm～ φ1,200mm	φ1,000mm～ φ1,600mm	φ1,800mm φ2,000mm	φ1,000mm																																																																																																																																																																													
			打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 30m以下	打設長(L) 3mを超え 27m以下	打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下		打設長(L) 20mを超え 40m以下																																																																																																																																																																										
深 層 混 合 機 (スラリー式)	単軸式 小型地盤改良機 27.4kN・m	台	1	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																											
	単軸式 90～ 110kW×1	n	—	1	—	—	—	—																																																																																																																																																																											
	単軸式 90kW ×2	n	—	—	1	—	—	—																																																																																																																																																																											
	二軸式 45kW ×2	n	—	—	—	1	—	—																																																																																																																																																																											
	二軸式 55～ 60kW×2	n	—	—	—	—	1	—																																																																																																																																																																											
	二軸式 90kW ×2	n	—	—	—	—	—	1																																																																																																																																																																											
スラリプラント (全 自 動)	能力10m³/h	基	1	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																											
	能力20m³/h	n	—	1	1	1	1	1																																																																																																																																																																											
(注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。 2. スラリプラントには、スクリーコンベヤ、セメントサイロ、水槽、水中ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリプラント制御盤を含む。				(注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。 2. スラリプラントには、スクリーコンベヤ、セメントサイロ、水槽、水中ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリプラント制御盤を含む。																																																																																																																																																																															
表3. 2 機種 の 選 定				表3. 2 機種 の 選 定																																																																																																																																																																															
<table><tr><th rowspan="3">機 械 名</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単 位</th><th colspan="4">二軸施工（変位低減型）</th><th rowspan="3">摘要</th></tr><tr><th colspan="4">φ1,000mm</th></tr><tr><th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th><th>打設長(L) 10mを超え 20m以下</th><th>打設長(L) 20mを超え 30m以下</th><th>打設長(L) 30mを超え 40m以下</th></tr><tr><td rowspan="4">深 層 混 合 機 (スラリー式)</td><td>二軸式 45kW×2</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>二軸式 55～60kW×2</td><td>n</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>二軸式 75～90kW×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>二軸式 90kW×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>スラリプラント (全 自 動)</td><td>能力20m³/h</td><td>基</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td></tr></table>				機 械 名	規 格	単 位	二軸施工（変位低減型）				摘要	φ1,000mm				打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 30m以下	打設長(L) 30mを超え 40m以下	深 層 混 合 機 (スラリー式)	二軸式 45kW×2	台	1	—	—	—		二軸式 55～60kW×2	n	—	1	—	—		二軸式 75～90kW×2	n	—	—	1	—		二軸式 90kW×2	n	—	—	—	1		スラリプラント (全 自 動)	能力20m³/h	基	1	1	1	1		<table><tr><th rowspan="3">機 械 名</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単 位</th><th colspan="4">二軸施工（変位低減型）</th><th rowspan="3">摘要</th></tr><tr><th colspan="4">φ1,000mm</th></tr><tr><th>打設長(L) 3mを超え 10m以下</th><th>打設長(L) 10mを超え 20m以下</th><th>打設長(L) 20mを超え 30m以下</th><th>打設長(L) 30mを超え 40m以下</th></tr><tr><td rowspan="4">深 層 混 合 機 (スラリー式)</td><td>二軸式 45kW×2</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>二軸式 55～60kW×2</td><td>n</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>二軸式 75～90kW×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>二軸式 90kW×2</td><td>n</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>スラリプラント (全 自 動)</td><td>能力20m³/h</td><td>基</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td></td></tr></table>				機 械 名	規 格	単 位	二軸施工（変位低減型）				摘要	φ1,000mm				打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 30m以下	打設長(L) 30mを超え 40m以下	深 層 混 合 機 (スラリー式)	二軸式 45kW×2	台	1	—	—	—		二軸式 55～60kW×2	n	—	1	—	—		二軸式 75～90kW×2	n	—	—	1	—		二軸式 90kW×2	n	—	—	—	1		スラリプラント (全 自 動)	能力20m³/h	基	1	1	1	1																																																																			
機 械 名	規 格	単 位	二軸施工（変位低減型）				摘要																																																																																																																																																																												
			φ1,000mm																																																																																																																																																																																
			打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 30m以下	打設長(L) 30mを超え 40m以下																																																																																																																																																																													
深 層 混 合 機 (スラリー式)	二軸式 45kW×2	台	1	—	—	—																																																																																																																																																																													
	二軸式 55～60kW×2	n	—	1	—	—																																																																																																																																																																													
	二軸式 75～90kW×2	n	—	—	1	—																																																																																																																																																																													
	二軸式 90kW×2	n	—	—	—	1																																																																																																																																																																													
スラリプラント (全 自 動)	能力20m³/h	基	1	1	1	1																																																																																																																																																																													
機 械 名	規 格	単 位	二軸施工（変位低減型）				摘要																																																																																																																																																																												
			φ1,000mm																																																																																																																																																																																
			打設長(L) 3mを超え 10m以下	打設長(L) 10mを超え 20m以下	打設長(L) 20mを超え 30m以下	打設長(L) 30mを超え 40m以下																																																																																																																																																																													
深 層 混 合 機 (スラリー式)	二軸式 45kW×2	台	1	—	—	—																																																																																																																																																																													
	二軸式 55～60kW×2	n	—	1	—	—																																																																																																																																																																													
	二軸式 75～90kW×2	n	—	—	1	—																																																																																																																																																																													
	二軸式 90kW×2	n	—	—	—	1																																																																																																																																																																													
スラリプラント (全 自 動)	能力20m³/h	基	1	1	1	1																																																																																																																																																																													
(注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。 2. スラリプラントには、スクリーコンベヤ、セメントサイロ、水槽、水中ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリプラント制御盤を含む。				(注) 1. 深層混合処理機には、施工管理計、システム管理計を含む。 2. スラリプラントには、スクリーコンベヤ、セメントサイロ、水槽、水中ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ及びスラリプラント制御盤を含む。																																																																																																																																																																															
II-2-⑩-12				II-2-⑩-12																																																																																																																																																																															
積算上の注意事項				積算上の注意事項				(控え頁) 1／3																																																																																																																																																																											

工 種	スラリー攪拌工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正		改 正																																																		
				現 行																																																		
現 行				改 正				備 考																																														
5－3 諸雑費 諸雑費は、足場材（敷鉄板）賃料及び設置・撤去・移設、改良後の整地に要する費用、電力に関する経費等であり労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 なお、変位低減型の場合は、諸雑費率に排土・排出土処理（現場内仮置き）に関する費用を含む。 <table><caption>表5.9 諸雑費率 (%)</caption><tr><th>工 法</th><th>杭 径</th><th>打設長 L (m)</th><th>諸 雑 費 率</th></tr><tr><td rowspan="3">単 軸 施 工</td><td>φ 800mm～φ 1,200mm</td><td>3mを超え10m以下</td><td>20</td></tr><tr><td>φ 1,000mm～φ 1,600mm</td><td>10mを超え30m以下</td><td>18</td></tr><tr><td>φ 1,800mm φ 2,000mm</td><td>3mを超え27m以下</td><td>31</td></tr><tr><td>二 軸 施 工</td><td>φ 1,000mm</td><td>3mを超え40m以下</td><td>23</td></tr><tr><td rowspan="2">二 軸 施 工 (変 位 低 減 型)</td><td>φ 1,000mm</td><td>3mを超え40m以下</td><td>26</td></tr><tr><td>φ 1,600mm</td><td>3mを超え36m以下</td><td>31</td></tr></table> 5－4 スラブリャント現場内移設歩掛 スラブリャントを中心に施工位置が半径約100mを超える場合、又は同一現場内に施工箇所が2箇所以上ある等、スラブリャントを移設しなければならない場合は、次表を標準とする。 <table><caption>表5.10 スラブリャント現場内移設歩掛 (1回当たり)</caption><tr><th>名 称</th><th>規 格</th><th>単 位</th><th>単 軸 施 工 二 軸 施 工 二軸施工(変位低減型)</th></tr><tr><td>土木一般世話役</td><td></td><td>人</td><td>1.0</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>2.9</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>#</td><td>1.4</td></tr><tr><td>ラフテレーン クレーン運転</td><td>油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊</td><td>日</td><td>1.4</td></tr></table> (注) 1. 移設するスラブリャントはスクリュウコンベア、セメントサイロ、水槽、水中ポンプ、アジテータ、グラウトポンプ、スラブリャント制御盤及び発動発電機とする。 2. ラフテレーンクレーンは、賃料とする。 5－5 その他 (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第5編2章土工②土工」による。 1) 表層安定処理等を行った地盤 2) 表層に転石等が多い地盤 3) 表層に障害物等のある地盤 (2) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。 (3) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等が必要な場合は、別途計上する。 (4) スラリー攪拌工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は、別途計上する。 II-2-⑩-18				工 法	杭 径	打設長 L (m)	諸 雑 費 率	単 軸 施 工	φ 800mm～φ 1,200mm	3mを超え10m以下	20	φ 1,000mm～φ 1,600mm	10mを超え30m以下	18	φ 1,800mm φ 2,000mm	3mを超え27m以下	31	二 軸 施 工	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	23	二 軸 施 工 (変 位 低 減 型)	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	26	φ 1,600mm	3mを超え36m以下	31	名 称	規 格	単 位	単 軸 施 工 二 軸 施 工 二軸施工(変位低減型)	土木一般世話役		人	1.0	特 殊 作 業 員		#	2.9	普 通 作 業 員		#	1.4	ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	1.4	現行どおり 5－5 その他 (1) 次の条件等により攪拌翼が貫入出来ない場合は、バックホウによる先掘りを行うものとし、「第5編2章1章土工②土工」による。 1) 表層安定処理等を行った地盤 2) 表層に転石等が多い地盤 3) 表層に障害物等のある地盤 (2) 汚泥土の処分が必要な場合は、別途計上する。 (3) 注入材配合用水、機器洗浄等に用いる上水道等が必要な場合は、別途計上する。 (4) スラリー攪拌工は、特許を有する工法の場合もあるので、特許料が必要な場合は、別途計上する。				記載の修正	
工 法	杭 径	打設長 L (m)	諸 雑 費 率																																																			
単 軸 施 工	φ 800mm～φ 1,200mm	3mを超え10m以下	20																																																			
	φ 1,000mm～φ 1,600mm	10mを超え30m以下	18																																																			
	φ 1,800mm φ 2,000mm	3mを超え27m以下	31																																																			
二 軸 施 工	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	23																																																			
二 軸 施 工 (変 位 低 減 型)	φ 1,000mm	3mを超え40m以下	26																																																			
	φ 1,600mm	3mを超え36m以下	31																																																			
名 称	規 格	単 位	単 軸 施 工 二 軸 施 工 二軸施工(変位低減型)																																																			
土木一般世話役		人	1.0																																																			
特 殊 作 業 員		#	2.9																																																			
普 通 作 業 員		#	1.4																																																			
ラフテレーン クレーン運転	油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型(第2次基準値) 25t吊	日	1.4																																																			
積算上の注意事項		(控え頁)																																																				
		2／3																																																				

工 種	スラリー攪拌工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正			改 正																																		
					現 行																																		
現 行					改 正					備 考																													
(3) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td rowspan="2">深層混合処理機 (スラリー式)</td><td rowspan="2">表3.1</td><td rowspan="2">機－18</td><td>単軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→ 27.4kN・m →35 →110kw×1 20m →64 →110kw×1 30m →77 → 90kw×2 →64 機械損料数量→1.59</td></tr><tr><td>一軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 →37 →60kw×2 →40 →90kw×2 →58 機械損料数量→1.59</td></tr><tr><td rowspan="2">深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型</td><td rowspan="2">表3.2、表3.3</td><td rowspan="2">機－18</td><td>二軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 →34 →60kw×2 →37 →75kw×2 →54 →90kw×2 →54 →L≧10m機 →55 →L≧20m機 →55 →L≧26m機 →72 →L≧36m機 →55 機械損料数量→1.59</td></tr><tr><td>スラリプラント 表3.1～表3.3 機－25 機械損料数量→1.59</td></tr></table>					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機－18	単軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→ 27.4kN・m →35 →110kw×1 20m →64 →110kw×1 30m →77 → 90kw×2 →64 機械損料数量→1.59	一軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 →37 →60kw×2 →40 →90kw×2 →58 機械損料数量→1.59	深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2、表3.3	機－18	二軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 →34 →60kw×2 →37 →75kw×2 →54 →90kw×2 →54 →L≧10m機 →55 →L≧20m機 →55 →L≧26m機 →72 →L≧36m機 →55 機械損料数量→1.59	スラリプラント 表3.1～表3.3 機－25 機械損料数量→1.59	(3) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td rowspan="2">深層混合処理機 (スラリー式)</td><td rowspan="2">表3.1</td><td rowspan="2">機－18</td><td>単軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→ 27.4kN・m →35 →11090kw×1 20m →6452 →11090kw×1 30m →7752 → 90kw×2 →6483 機械損料数量→1.5961</td></tr><tr><td>一軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 →3759 →60kw×2 →4048 →90kw×2 →5877 機械損料数量→1.5961</td></tr><tr><td rowspan="2">深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型</td><td rowspan="2">表3.2、表3.3</td><td rowspan="2">機－18</td><td>二軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 →3455 →60kw×2 →3745 →75kw×2 →5455 →90kw×2 →5472 →L≧10m機 →55 →L≧20m機 →55 →L≧26m機 →72 →L≧36m機 →5572 機械損料数量→1.5961</td></tr><tr><td>スラリプラント 表3.1～表3.3 機－25 機械損料数量→1.5961</td></tr></table>					機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機－18	単軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→ 27.4kN・m →35 → 110 90kw×1 20m → 64 52 → 110 90kw×1 30m → 77 52 → 90kw×2 → 64 83 機械損料数量→1. 596 1	一軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 → 37 59 →60kw×2 → 40 48 →90kw×2 → 58 77 機械損料数量→1. 596 1	深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2、表3.3	機－18	二軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 → 34 55 →60kw×2 → 37 45 →75kw×2 → 54 55 →90kw×2 → 54 72 →L≧10m機 →55 →L≧20m機 →55 →L≧26m機 →72 →L≧36m機 → 55 72 機械損料数量→1. 596 1	スラリプラント 表3.1～表3.3 機－25 機械損料数量→1. 596 1	記載の修正	
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																				
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機－18	単軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→ 27.4kN・m →35 →110kw×1 20m →64 →110kw×1 30m →77 → 90kw×2 →64 機械損料数量→1.59																																				
			一軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 →37 →60kw×2 →40 →90kw×2 →58 機械損料数量→1.59																																				
深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2、表3.3	機－18	二軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 →34 →60kw×2 →37 →75kw×2 →54 →90kw×2 →54 →L≧10m機 →55 →L≧20m機 →55 →L≧26m機 →72 →L≧36m機 →55 機械損料数量→1.59																																				
			スラリプラント 表3.1～表3.3 機－25 機械損料数量→1.59																																				
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																				
深層混合処理機 (スラリー式)	表3.1	機－18	単軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→ 27.4kN・m →35 → 110 90kw×1 20m → 64 52 → 110 90kw×1 30m → 77 52 → 90kw×2 → 64 83 機械損料数量→1. 596 1																																				
			一軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 → 37 59 →60kw×2 → 40 48 →90kw×2 → 58 77 機械損料数量→1. 596 1																																				
深層混合処理機 (スラリー式) 変位低減型	表3.2、表3.3	機－18	二軸 運転労務数量→1.00 燃 料 消 費 量→45kw×2 → 34 55 →60kw×2 → 37 45 →75kw×2 → 54 55 →90kw×2 → 54 72 →L≧10m機 →55 →L≧20m機 →55 →L≧26m機 →72 →L≧36m機 → 55 72 機械損料数量→1. 596 1																																				
			スラリプラント 表3.1～表3.3 機－25 機械損料数量→1. 596 1																																				
II-2-⑪-20																																							
積算上の注意事項										(控え頁) 3／3																													

工 種	高圧噴射攪拌工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																																																																																																												
現 行				改 正		備 考																																																																																																																																																																										
3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 次表の各工法の機械セット数と異なる場合は別途考慮する。 表3. 1 単管工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="2">機 械 名</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">杭 径</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>700 mm以上 800 mm以下</th><th>800 mmを超え 1,100 mm以下</th></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>油圧式 5.5kW級</td><td>台</td><td>4</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>高圧噴射攪拌式 地 盤 改 良 機</td><td>超高压ポンプ 圧力 19.6MPa 吐出量 20～100ℓ/min</td><td>〃</td><td>4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>超高压ポンプ 圧力 39.2MPa 吐出量 100～130ℓ/min</td><td>〃</td><td>—</td><td>2</td><td></td></tr></table> (注) 上表は、杭径が 700 mm以上 800 mm以下の場合は 4 セットを標準とし、800 mmを超え 1,100 mm以下の場合は 2 セットを標準とした数量である。 表3. 2 二重管工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="2">機 械 名</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">杭 径</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>1,000mm 以上 2,000mm 以下</th><th>2,000mm を超え 3,000mm 以下</th></tr><tr><td>高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機</td><td>二重管専用型 11kW</td><td>台</td><td>1</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機</td><td>超高压ポンプ 圧力 19.6MPa 吐出量 20～100ℓ/min</td><td>〃</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機</td><td>超高压ポンプ 圧力 40.0MPa 吐出量 200ℓ/min</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量 5m³/min 吐出圧力 0.7MPa</td><td>〃</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒 音型)・排出ガス対策型(第3次基準値) 吐出量 15m³/min 吐出圧力 1.05MPa</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>トラッククレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊</td><td>〃</td><td>1</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) 1. 上表は、1 セットを標準とした数量である。 2. 空気圧縮機、トラッククレーンは、賃料とする。 表3. 3 三重管工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="2">機 種</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">数 量</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>削 孔</th><th>注 入</th></tr><tr><td>高圧噴射攪拌用地盤改良機</td><td>掘削専用型(油圧式) スピンドル内径 148 mm 11kW</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>三重管専用型 11kW</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>超高压ポンプ 圧力 39.2MPa 吐出量 14～70ℓ/min</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>グ ラ ウ ト ボ ン プ</td><td>横型 二連複動ピストン式 吐出量 200t/min</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>横型二連複動ピストン式 吐出量 37～100ℓ/min</td><td>〃</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量 5m³/min 吐出圧力 0.7MP</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20t 吊</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) 1. 上表は、削孔時及び注入時ともに 1 セットを標準とした数量である。 II-2-⑪-24				機 械 名	規 格	単 位	杭 径		摘 要	700 mm以上 800 mm以下	800 mmを超え 1,100 mm以下	ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	台	4	2		高圧噴射攪拌式 地 盤 改 良 機	超高压ポンプ 圧力 19.6MPa 吐出量 20～100ℓ/min	〃	4	—		〃	超高压ポンプ 圧力 39.2MPa 吐出量 100～130ℓ/min	〃	—	2		機 械 名	規 格	単 位	杭 径		摘 要	1,000mm 以上 2,000mm 以下	2,000mm を超え 3,000mm 以下	高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機	二重管専用型 11kW	台	1	1		高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機	超高压ポンプ 圧力 19.6MPa 吐出量 20～100ℓ/min	〃	1	—		高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機	超高压ポンプ 圧力 40.0MPa 吐出量 200ℓ/min	〃	—	1		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量 5m ³ /min 吐出圧力 0.7MPa	〃	1	—		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒 音型)・排出ガス対策型(第3次基準値) 吐出量 15m ³ /min 吐出圧力 1.05MPa	〃	—	1		トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	〃	1	1		機 種	規 格	単 位	数 量		摘 要	削 孔	注 入	高圧噴射攪拌用地盤改良機	掘削専用型(油圧式) スピンドル内径 148 mm 11kW	台	1	—		〃	三重管専用型 11kW	〃	—	1		〃	超高压ポンプ 圧力 39.2MPa 吐出量 14～70ℓ/min	〃	—	1		グ ラ ウ ト ボ ン プ	横型 二連複動ピストン式 吐出量 200t/min	〃	—	1		〃	横型二連複動ピストン式 吐出量 37～100ℓ/min	〃	1	—		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量 5m ³ /min 吐出圧力 0.7MP	〃	—	1		ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20t 吊	〃	—	1		現行どおり 表3. 3 三重管工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="2">機 種</th><th rowspan="2">規 格</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">数 量</th><th rowspan="2">摘 要</th></tr><tr><th>削 孔</th><th>注 入</th></tr><tr><td>高圧噴射攪拌用地盤改良機</td><td>掘削専用型(油圧式) スピンドル内径 148 mm 11kW</td><td>台</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>三重管専用型 11kW</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>超高压ポンプ 圧力 39.2MPa 吐出量 14～70ℓ/min</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>グ ラ ウ ト ボ ン プ</td><td>横型二連複動二筒複動ピストン式 吐出量 200t/min</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>〃</td><td>横型二連複動二筒複動ピストン式 吐出量 37～100ℓ/min</td><td>〃</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>空 気 圧 縮 機</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量 5m³/min 吐出圧力 0.7MP</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>ラフテレーンクレーン</td><td>油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20t 吊</td><td>〃</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr></table> (注) 1. 上表は、削孔時及び注入時ともに 1 セットを標準とした数量である。		機 種	規 格	単 位	数 量		摘 要	削 孔	注 入	高圧噴射攪拌用地盤改良機	掘削専用型(油圧式) スピンドル内径 148 mm 11kW	台	1	—		〃	三重管専用型 11kW	〃	—	1		〃	超高压ポンプ 圧力 39.2MPa 吐出量 14～70ℓ/min	〃	—	1		グ ラ ウ ト ボ ン プ	横型二連複動二筒複動ピストン式 吐出量 200t/min	〃	—	1		〃	横型二連複動二筒複動ピストン式 吐出量 37～100ℓ/min	〃	1	—		空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量 5m ³ /min 吐出圧力 0.7MP	〃	—	1		ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20t 吊	〃	—	1		記載の修正
機 械 名	規 格	単 位	杭 径				摘 要																																																																																																																																																																									
			700 mm以上 800 mm以下	800 mmを超え 1,100 mm以下																																																																																																																																																																												
ボーリングマシン	油圧式 5.5kW級	台	4	2																																																																																																																																																																												
高圧噴射攪拌式 地 盤 改 良 機	超高压ポンプ 圧力 19.6MPa 吐出量 20～100ℓ/min	〃	4	—																																																																																																																																																																												
〃	超高压ポンプ 圧力 39.2MPa 吐出量 100～130ℓ/min	〃	—	2																																																																																																																																																																												
機 械 名	規 格	単 位	杭 径		摘 要																																																																																																																																																																											
			1,000mm 以上 2,000mm 以下	2,000mm を超え 3,000mm 以下																																																																																																																																																																												
高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機	二重管専用型 11kW	台	1	1																																																																																																																																																																												
高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機	超高压ポンプ 圧力 19.6MPa 吐出量 20～100ℓ/min	〃	1	—																																																																																																																																																																												
高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機	超高压ポンプ 圧力 40.0MPa 吐出量 200ℓ/min	〃	—	1																																																																																																																																																																												
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量 5m ³ /min 吐出圧力 0.7MPa	〃	1	—																																																																																																																																																																												
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒 音型)・排出ガス対策型(第3次基準値) 吐出量 15m ³ /min 吐出圧力 1.05MPa	〃	—	1																																																																																																																																																																												
トラッククレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	〃	1	1																																																																																																																																																																												
機 種	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																											
			削 孔	注 入																																																																																																																																																																												
高圧噴射攪拌用地盤改良機	掘削専用型(油圧式) スピンドル内径 148 mm 11kW	台	1	—																																																																																																																																																																												
〃	三重管専用型 11kW	〃	—	1																																																																																																																																																																												
〃	超高压ポンプ 圧力 39.2MPa 吐出量 14～70ℓ/min	〃	—	1																																																																																																																																																																												
グ ラ ウ ト ボ ン プ	横型 二連複動ピストン式 吐出量 200t/min	〃	—	1																																																																																																																																																																												
〃	横型二連複動ピストン式 吐出量 37～100ℓ/min	〃	1	—																																																																																																																																																																												
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量 5m ³ /min 吐出圧力 0.7MP	〃	—	1																																																																																																																																																																												
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20t 吊	〃	—	1																																																																																																																																																																												
機 種	規 格	単 位	数 量		摘 要																																																																																																																																																																											
			削 孔	注 入																																																																																																																																																																												
高圧噴射攪拌用地盤改良機	掘削専用型(油圧式) スピンドル内径 148 mm 11kW	台	1	—																																																																																																																																																																												
〃	三重管専用型 11kW	〃	—	1																																																																																																																																																																												
〃	超高压ポンプ 圧力 39.2MPa 吐出量 14～70ℓ/min	〃	—	1																																																																																																																																																																												
グ ラ ウ ト ボ ン プ	横型二連複動二筒複動ピストン式 吐出量 200t/min	〃	—	1																																																																																																																																																																												
〃	横型二連複動二筒複動ピストン式 吐出量 37～100ℓ/min	〃	1	—																																																																																																																																																																												
空 気 圧 縮 機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量 5m ³ /min 吐出圧力 0.7MP	〃	—	1																																																																																																																																																																												
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20t 吊	〃	—	1																																																																																																																																																																												
積算上の注意事項						(控え頁) 1／3																																																																																																																																																																										

工 種	高圧噴射攪拌工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																																																										
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																								
② 2,000mmを超え3,000mm以下 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223320</td></tr></table> <table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単 位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$</td><td>表4. 1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60) \times 3$</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60) \times 3$</td><td>〃</td></tr><tr><td>注 入 材 料</td><td></td><td>m³</td><td>Q_v</td><td>式5. 3</td></tr><tr><td>損 耗 材 料 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機 運 転</td><td>二重管専用型 11kW</td><td>日</td><td>$T_v / (6.7 \times 60)$</td><td>表3. 2 機械損料</td></tr><tr><td>高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機 運 転</td><td>超高压ポンプ 圧力40.0MPa 吐出量200ℓ/min</td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60)$</td><td>表3. 2 機械損料</td></tr><tr><td>空 気 圧 縮 機 運 転</td><td>可搬式・エンジン駆動・スクリーン型 (低騒音型)・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 低騒音型 吐出量15m³/min 吐出圧力1.05MPa</td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60)$</td><td>表3. 2 機械賃料</td></tr><tr><td>トラッククレーン運転</td><td>油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊</td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60)$</td><td>表3. 2 機械賃料</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5. 19</td></tr><tr><td>特 許 料 金</td><td></td><td>人</td><td>1</td><td>必要に応じて 計上</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 1. T_v: 1本当り施工時間 (min) 2. Q_v: 二重管工法の1本当り注入量 (m³) (3) 三重管工法削孔1本当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223330</td></tr></table> <table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単 位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$</td><td>〃</td></tr><tr><td>損 耗 材 料 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>高圧噴射攪拌式地盤改良機運 転</td><td>掘削専用型(油圧式) スピンドル内径148mm 11kW</td><td>日</td><td>$T_v / (6.7 \times 60)$</td><td>表3.3 機械損料</td></tr><tr><td>グラウトポンプ 損 料</td><td>横型二連複動ピストン式 吐出量37～100ℓ /min</td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60)$</td><td>〃</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.27</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) T_v: 1本当り削孔時間 (min)				施工歩掛コード		WB223320		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	表4. 1	特 殊 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 3$	〃	普 通 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 3$	〃	注 入 材 料		m ³	Q _v	式5. 3	損 耗 材 料 費		式	1		高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機 運 転	二重管専用型 11kW	日	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3. 2 機械損料	高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機 運 転	超高压ポンプ 圧力40.0MPa 吐出量200ℓ/min	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3. 2 機械損料	空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン型 (低騒音型)・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 低騒音型 吐出量15m ³ /min 吐出圧力1.05MPa	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3. 2 機械賃料	トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3. 2 機械賃料	諸 雑 費		式	1	表5. 19	特 許 料 金		人	1	必要に応じて 計上	計					施工歩掛コード		WB223330		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	表4.1	特 殊 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	〃	普 通 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	〃	損 耗 材 料 費		式	1		高圧噴射攪拌式地盤改良機運 転	掘削専用型(油圧式) スピンドル内径148mm 11kW	日	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3.3 機械損料	グラウトポンプ 損 料	横型二連複動ピストン式 吐出量37～100ℓ /min	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	〃	諸 雑 費		式	1	表5.27	計					現行どおり (3) 三重管工法削孔1本当り単価表 <table><tr><td colspan="2">施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223330</td></tr></table> <table><tr><td>名 称</td><td>規 格</td><td>単 位</td><td>数 量</td><td>摘 要</td></tr><tr><td>土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$</td><td>表4.1</td></tr><tr><td>特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$</td><td>〃</td></tr><tr><td>普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$</td><td>〃</td></tr><tr><td>損 耗 材 料 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>高圧噴射攪拌式地盤改良機運 転</td><td>掘削専用型(油圧式) スピンドル内径148mm 11kW</td><td>日</td><td>$T_v / (6.7 \times 60)$</td><td>表3.3 機械損料</td></tr><tr><td>グラウトポンプ 損 料</td><td>横型二連複動二筒複動ピストン式 吐出量37～100ℓ /min</td><td>人</td><td>$T_v / (6.7 \times 60)$</td><td>〃</td></tr><tr><td>諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td>表5.27</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) T_v: 1本当り削孔時間 (min)				施工歩掛コード		WB223330		名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	表4.1	特 殊 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	〃	普 通 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	〃	損 耗 材 料 費		式	1		高圧噴射攪拌式地盤改良機運 転	掘削専用型(油圧式) スピンドル内径148mm 11kW	日	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3.3 機械損料	グラウトポンプ 損 料	横型二連複動二筒複動ピストン式 吐出量37～100ℓ /min	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	〃	諸 雑 費		式	1	表5.27	計					記載の修正	
施工歩掛コード		WB223320																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																												
土 木 一 般 世 話 役		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	表4. 1																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 3$	〃																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 3$	〃																																																																																																																																																																												
注 入 材 料		m ³	Q _v	式5. 3																																																																																																																																																																												
損 耗 材 料 費		式	1																																																																																																																																																																													
高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機 運 転	二重管専用型 11kW	日	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3. 2 機械損料																																																																																																																																																																												
高 圧 噴 射 攪 拌 式 地 盤 改 良 機 運 転	超高压ポンプ 圧力40.0MPa 吐出量200ℓ/min	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3. 2 機械損料																																																																																																																																																																												
空 気 圧 縮 機 運 転	可搬式・エンジン駆動・スクリーン型 (低騒音型)・ 排出ガス対策型 (第3次基準値) 低騒音型 吐出量15m ³ /min 吐出圧力1.05MPa	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3. 2 機械賃料																																																																																																																																																																												
トラッククレーン運転	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3. 2 機械賃料																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	表5. 19																																																																																																																																																																												
特 許 料 金		人	1	必要に応じて 計上																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																
施工歩掛コード		WB223330																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																												
土 木 一 般 世 話 役		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	表4.1																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	〃																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	〃																																																																																																																																																																												
損 耗 材 料 費		式	1																																																																																																																																																																													
高圧噴射攪拌式地盤改良機運 転	掘削専用型(油圧式) スピンドル内径148mm 11kW	日	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3.3 機械損料																																																																																																																																																																												
グラウトポンプ 損 料	横型二連複動ピストン式 吐出量37～100ℓ /min	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	〃																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	表5.27																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																
施工歩掛コード		WB223330																																																																																																																																																																														
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要																																																																																																																																																																												
土 木 一 般 世 話 役		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	表4.1																																																																																																																																																																												
特 殊 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	〃																																																																																																																																																																												
普 通 作 業 員		人	$T_v / (6.7 \times 60) \times 1$	〃																																																																																																																																																																												
損 耗 材 料 費		式	1																																																																																																																																																																													
高圧噴射攪拌式地盤改良機運 転	掘削専用型(油圧式) スピンドル内径148mm 11kW	日	$T_v / (6.7 \times 60)$	表3.3 機械損料																																																																																																																																																																												
グラウトポンプ 損 料	横型二連複動二筒複動ピストン式 吐出量37～100ℓ /min	人	$T_v / (6.7 \times 60)$	〃																																																																																																																																																																												
諸 雑 費		式	1	表5.27																																																																																																																																																																												
計																																																																																																																																																																																
Ⅱ-2-①-35																																																																																																																																																																																
積算上の注意事項								(控え頁) 2/3																																																																																																																																																																								

改 正 理 由		一部改正		改 正					
		現 行		現 行					
現 行				改 正				備 考	
(4) 三重管工法注入1本当り単価表				(4) 三重管工法注入1本当り単価表				記載の修正	
		施工歩掛コード		WB223340					
名 称		規 格	単 位	数 量	摘 要				
土 木 一 般 世 話 役			人	$T_A/(6.7 \times 60) \times 1$	表4.1				
特 殊 作 業 員			人	$T_A/(6.7 \times 60) \times 4$	〃				
普 通 作 業 員			人	$T_A/(6.7 \times 60) \times 3$	〃				
注 入 材 料			m ³	Q _A	式5.4				
損 耗 材 料 費			式	1					
高圧噴射攪拌式地盤改良機運		三重管専用型 11kW	日	T _A /(6.7×60)	表3.3 機械損料				
〃		超高压ポンプ 圧力39.2MPa 吐出量14～70ℓ/min	〃	T _A /(6.7×60)	〃				
グラウトポンプ運転		横型二連複動ピストン式 吐出量200ℓ/min	〃	T _A /(6.7×60)	〃				
空 気 圧 縮 機 運 転		[可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値)] 吐出量5.0m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	〃	T _A /(6.7×60)	表3.3 機械賃料				
ラフテレーンクレーン運		油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 20 t 吊	〃	T _A /(6.7×60)	〃				
諸 雑 費			式	1	表5.28				
特 許 料 金			〃	1	必要に応じて計上				
計									
(注) 1. T _A : 1 本当り施工時間 (min) 2. Q _A : 三重管工法の1 本当り注入量 (m ³)				(注) 1. T _A : 1 本当り施工時間 (min) 2. Q _A : 三重管工法の1 本当り注入量 (m ³)					
(5) 注入設備据付・解体1現場当り及び移設1回当り単価表				(5) 注入設備据付・解体1現場当り及び移設1回当り単価表					
		施工歩掛コード		WB223370 WB223380					
名 称		規 格	単 位	数 量	摘 要				
土 木 一 般 世 話 役			人		表5.29				
特 殊 作 業 員			人		〃				
普 通 作 業 員			人		〃				
ラフテレーンクレーン運		油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値) 25 t 吊	日		表5.29 機械賃料				
諸 雑 費			式	1					
計									
(6) 機械運転単価表				(6) 機械運転単価表					
機 械 名		規 格	適用単価表	指 定 事 項					
空 気 圧 縮 機		可搬式・エンジン駆動・スクリュ型・ 排出ガス対策型(第1次基準値) 吐出量5m ³ /min 吐出圧力0.7MPa	機-16	燃料消費量→42 機械賃料数量 二重管工法→1.40 三重管工法→1.75					
空 気 圧 縮 機		可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(低騒音型)・ 排出ガス対策型(第3次基準値)低騒音型 吐出量15m ³ /min 吐出圧力1.05MPa	機-16	燃料消費量→127 機械賃料数量→1.3					
II-2-①-36				現行どおり					
積算上の注意事項								(控え頁) 3/3	

工 種	PVD工
-----	------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行																																																																																		
現 行				改 正			備 考																																																																															
6. 単 価 表 (1) PVD打設長○cm 100 本当り単価表 <table><tr><th colspan="2">名 称</th><th>規 格</th><th>単位</th><th>数 量</th><th>摘 要</th></tr><tr><td colspan="2">土 木 一 般 世 話 役</td><td></td><td>人</td><td>$\frac{100 \times T}{60 \times T} \times 1$</td><td>表 4.1</td></tr><tr><td colspan="2">特 殊 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>$n \times 1$</td><td>n</td></tr><tr><td colspan="2">普 通 作 業 員</td><td></td><td>人</td><td>$n \times 1$</td><td>n</td></tr><tr><td colspan="2">ド レ ー ン 材</td><td></td><td>m</td><td>$100 \times (L + 0.5) \times (1 + K1)$</td><td>式 5.1</td></tr><tr><td colspan="2">先 端 ア ン カ ー</td><td></td><td>個</td><td>$100 \times (1 + K2)$</td><td>式 5.2</td></tr><tr><td colspan="2">プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機運転</td><td></td><td>日</td><td>$\frac{100 \times T}{60 \times T} c$</td><td>(2)単価表</td></tr><tr><td colspan="2">諸 雑 費</td><td></td><td>式</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) T c : 1 本当り施工時間 (min/本) T : プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機運転日当り運転時間 (h) =6.8 (h/日) L : 打設長 (m) (2) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機</td><td>湿地型 打設長 30m以下</td><td>機－2 0</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 機械損料数量 1 (ベースマシン)→1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置)→1.82</td></tr><tr><td>プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機</td><td>湿地型 打設長 30mを超え 40m以下</td><td>機－2 0</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量 1 (ベースマシン)→1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置)→1.82</td></tr></table> II-2-⑩-43				名 称		規 格	単位	数 量	摘 要	土 木 一 般 世 話 役			人	$\frac{100 \times T}{60 \times T} \times 1$	表 4.1	特 殊 作 業 員			人	$n \times 1$	n	普 通 作 業 員			人	$n \times 1$	n	ド レ ー ン 材			m	$100 \times (L + 0.5) \times (1 + K1)$	式 5.1	先 端 ア ン カ ー			個	$100 \times (1 + K2)$	式 5.2	プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機運転			日	$\frac{100 \times T}{60 \times T} c$	(2)単価表	諸 雑 費			式	1		計						機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機	湿地型 打設長 30m以下	機－2 0	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 機械損料数量 1 (ベースマシン)→1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置)→1.82	プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機	湿地型 打設長 30mを超え 40m以下	機－2 0	運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量 1 (ベースマシン)→1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置)→1.82	現行どおり (2) 機械運転単価表 <table><tr><th>機 械 名</th><th>規 格</th><th>適用単価表</th><th>指 定 事 項</th></tr><tr><td>プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機</td><td>湿地型 打設長 30m以下</td><td>機－2 0</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 機械損料数量 1 (ベースマシン) →1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置) →1.82</td></tr><tr><td>プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機</td><td>湿地型 打設長 30mを超え 40m以下</td><td>機－2 0</td><td>運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量 1 (ベースマシン) →1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置) →1.82</td></tr></table>				機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項	プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機	湿地型 打設長 30m以下	機－2 0	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 機械損料数量 1 (ベースマシン) →1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置) →1.82	プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機	湿地型 打設長 30mを超え 40m以下	機－2 0	運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量 1 (ベースマシン) →1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置) →1.82	記載の修正
名 称		規 格	単位	数 量	摘 要																																																																																	
土 木 一 般 世 話 役			人	$\frac{100 \times T}{60 \times T} \times 1$	表 4.1																																																																																	
特 殊 作 業 員			人	$n \times 1$	n																																																																																	
普 通 作 業 員			人	$n \times 1$	n																																																																																	
ド レ ー ン 材			m	$100 \times (L + 0.5) \times (1 + K1)$	式 5.1																																																																																	
先 端 ア ン カ ー			個	$100 \times (1 + K2)$	式 5.2																																																																																	
プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機運転			日	$\frac{100 \times T}{60 \times T} c$	(2)単価表																																																																																	
諸 雑 費			式	1																																																																																		
計																																																																																						
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																			
プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機	湿地型 打設長 30m以下	機－2 0	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 機械損料数量 1 (ベースマシン)→1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置)→1.82																																																																																			
プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機	湿地型 打設長 30mを超え 40m以下	機－2 0	運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量 1 (ベースマシン)→1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置)→1.82																																																																																			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項																																																																																			
プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機	湿地型 打設長 30m以下	機－2 0	運転労務数量→1.00 燃料消費量→55 機械損料数量 1 (ベースマシン) →1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置) →1.82																																																																																			
プレファブリケイティッドバーチカルドレーン打機	湿地型 打設長 30mを超え 40m以下	機－2 0	運転労務数量→1.00 燃料消費量→95 機械損料数量 1 (ベースマシン) →1.82 機械損料数量 2 (施工管理装置) →1.82																																																																																			
積算上の注意事項		(控え頁) 1/2																																																																																				

工 種	PVD工
-----	------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行																																																	
現 行		改 正		備 考																																																
7. 施工単価入力基準表 (1) PVD工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB223610</td><td>施工単位</td><td>本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各種</td><td>J 1</td><td colspan="2">J 2</td></tr><tr><td>打設区分</td><td colspan="2">打設長 (m/本)</td></tr><tr><td>(表6.1)</td><td colspan="2">(実数入力)</td></tr></table> (注) 1. 上表には、ドレーン材及びアンカー材の材料ロスを含む。 2. ドレーン材単価 (Y-1636000) [円/㎡]及びアンカー材単価 (Y-1690000) [円/個]を単価登録すること。 表6.1 打設区分 <table><tr><td>打 設 長</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>30m以下</td><td>①</td></tr><tr><td>30mを超え40m以下</td><td>②</td></tr></table>		施工歩掛コード	WB223610	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各種	J 1	J 2		打設区分	打設長 (m/本)		(表6.1)	(実数入力)		打 設 長	入力番号	30m以下	①	30mを超え40m以下	②	7. 施工単価入力基準表 (1) PVD工 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td>WB223610</td><td>施工単位</td><td>本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="3">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="3">各種</td><td>J 1</td><td colspan="2">J 2</td></tr><tr><td>打設区分</td><td colspan="2">打設長 (m/本)</td></tr><tr><td>(表67.1)</td><td colspan="2">(実数入力)</td></tr></table> (注) 1. 上表には、ドレーン材及びアンカー材の材料ロスを含む。 2. ドレーン材単価 (Y-1636000) [円/㎡]及びアンカー材単価 (Y-1690000) [円/個]を単価登録すること。 表67.1 打設区分 <table><tr><td>打 設 長</td><td>入力番号</td></tr><tr><td>30m以下</td><td>①</td></tr><tr><td>30mを超え40m以下</td><td>②</td></tr></table>		施工歩掛コード	WB223610	施工単位	本	施工区分	入 力 条 件			各種	J 1	J 2		打設区分	打設長 (m/本)		(表67.1)	(実数入力)		打 設 長	入力番号	30m以下	①	30mを超え40m以下	②	記載の修正
施工歩掛コード	WB223610	施工単位	本																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																			
各種	J 1	J 2																																																		
	打設区分	打設長 (m/本)																																																		
	(表6.1)	(実数入力)																																																		
打 設 長	入力番号																																																			
30m以下	①																																																			
30mを超え40m以下	②																																																			
施工歩掛コード	WB223610	施工単位	本																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																			
各種	J 1	J 2																																																		
	打設区分	打設長 (m/本)																																																		
	(表67.1)	(実数入力)																																																		
打 設 長	入力番号																																																			
30m以下	①																																																			
30mを超え40m以下	②																																																			
II-2-①-44																																																				
積算上の注意事項				(控え頁) 2 / 2																																																

工 種	中層混合処理工
-----	---------

改 正 理 由		一部改正		改 正 現 行					
現 行				改 正			備 考		
6. 単 価 表 (1) 中層混合処理工 100m3 当り単価表				現行どおり					
名 称		規 格	単位					数 量	摘 要
上 木 一 般 世 話 役			人					$\frac{100}{D} \times 1$	表4.1 表5.1
特 殊 作 業 員			人					$\frac{100}{D} \times 1$	〃
普 通 作 業 員			人					$\frac{100}{D} \times 2$	〃
改 良 材			t					V×1 0 0	式5.1
中層混合処理機運転			H					$\frac{100}{D}$	表3.1、表5.1 機械損料
スラリープラント運転			人					$\frac{100}{D}$	〃
諸 雑 費			式					1	表5.4
特 許 料 金			人					1	必要に応じて 計上
計			式	1					
(注) D：1 H当り作業量 (m3／H) V：1 m3 当りの改良材使用量 (t ／m3)									
(2) 機械運転単価表				(2) 機械運転単価表			記載の修正		
機 械 名		規 格	運用単価表	指 定 事 項					
中 層 混 合 処 理 機 ト レ ン チ ャ 機 式		【ベ-マシン】 20t(山積0.8m3)級ﾊﾞｯｸﾙ 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)5m 【施工管理装置】 1ﾎﾞｰｽｸﾞｰﾙ用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→113 機械損料数量1 (ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2 (攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3 (施工管理装置) →1.66					
中 層 混 合 処 理 機 ト レ ン チ ャ 機 式		【ベ-マシン】 30t(山積1.4m3)級ﾊﾞｯｸﾙ 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)8m 【施工管理装置】 1ﾎﾞｰｽｸﾞｰﾙ用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→183 機械損料数量1 (ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2 (攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3 (施工管理装置) →1.66					
中 層 混 合 処 理 機 ト レ ン チ ャ 機 式		【ベ-マシン】 40t(山積1.9m3)級ﾊﾞｯｸﾙ 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)10m 【施工管理装置】 1ﾎﾞｰｽｸﾞｰﾙ用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→233 機械損料数量1 (ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2 (攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3 (施工管理装置) →1.66					
中 層 混 合 処 理 機 ト レ ン チ ャ 機 式		【ベ-マシン】 40t(山積1.9m3)級ﾊﾞｯｸﾙ(ﾌﾞｰﾄﾞｽｸﾞｰﾙ) 【攪拌混合装置】 改良深度(標準)13m 【施工管理装置】 2ﾎﾞｰｽｸﾞｰﾙ用	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→233 機械損料数量1 (ベ-マシン) →1.66 機械損料数量2 (攪拌混合装置) →1.66 機械損料数量3 (施工管理装置) →1.66					
深 層 混 合 処 理 機 (ス ラ リ ー 式)		スラリープラント(全自動) 能力2 0m ³ /h	機-25	機械損料数量→1.66					
II-2-①-19									
積算上の注意事項				(控え頁) 1／1					

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正	改 正 現 行	
現 行		改 正	備 考
⑫ 薬液注入工 1. 適用範囲 本資料は、粘土、シルト及び砂質土等の地盤に薬液を注入し「地盤の透水性を減少」又は「地盤の強度（固結度）を増加」させる薬液注入工のうち、二重管ストレーナ工法（単相方式及び複相方式）及び二重管ダブルパッカー工法を対象とし、鉛直方向施工にのみ適用する。 2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 二重管ストレーナ工法（単相） 機械搬入 ↓ プラント据付 ↓ 足場架設 ↓ 機械準備 ↓ 削 孔 ↓ 注 入 ↓ 土被り部引抜 ↓ 器具洗浄 ↓ プラント解体 ↓ 機械搬出 二重管ストレーナ工法（複相） 機械搬入 ↓ プラント据付 ↓ 足場架設 ↓ 機械準備 ↓ 削 孔 ↓ 1 次 注 入 ↓ 2 次 注 入 ↓ 土被り部引抜 ↓ 器具洗浄 ↓ プラント解体 ↓ 機械搬出 二重管ダブルパッカー工法（削孔） 機械搬入 ↓ プラント据付 ↓ 足場架設 ↓ 機械準備 ↓ 削 孔 ↓ シールグラウト注入 ↓ 注入外管建込 ↓ ケーシング引抜 ↓ 器具洗浄 ↓ プラント解体 ↓ 機械搬出 二重管ダブルパッカー工法（注入） 機械搬入 ↓ プラント据付 ↓ 足場架設 ↓ 機械準備 ↓ 1 次(2 次)注入 ↓ 土被り部引抜 ↓ 器具洗浄 ↓ プラント解体 ↓ 機械搬出 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。 2. プラントとは、グラウトミキサ、薬液ミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、グラウトポンプ、薬液注入ポンプ、貯水槽、貯液槽、グラウト流量・圧力測定装置、水ガラス積算流量計、ボーリングマシン等、注入工に要する設備全般を示す。 図2.1 施工フロー図		⑫ 薬液注入工 1. 適用範囲 本資料は、<u>河川・道路及び共同溝工事等を対象とし</u>、粘土、シルト及び砂質土等の地盤に薬液を注入し「地盤の透水性を減少」又は「地盤の強度（固結度）を増加」させる薬液注入工のうち、二重管ストレーナ工法（単相方式及び複相方式）及び二重管ダブルパッカー工法を対象とし、鉛直方向施工にのみ適用する。 2. 施工概要 施工フローは、下記を標準とする。 二重管ストレーナ工法（単相） 機械搬入 ↓ プラント据付 ↓ 足場架設 ↓ 機械準備 ↓ 削 孔 ↓ 注 入 ↓ 土被り部引抜 ↓ 器具洗浄 ↓ プラント解体 ↓ 機械搬出 二重管ストレーナ工法（複相） 機械材搬入 ↓ プラント据付 ↓ 足場架設 ↓ 機械準備 ↓ 削 孔 ↓ 1 次 注 入 ↓ 2 次 注 入 ↓ 土被り部引抜 ↓ 器具洗浄 ↓ プラント解体 ↓ 機械材搬出 二重管ダブルパッカー工法（削孔） 機械材搬入 ↓ プラント据付 ↓ 足場架設 ↓ 機械準備 ↓ 削 孔 ↓ シールグラウト注入 ↓ 注入外管建込 ↓ ケーシング引抜 ↓ 器具洗浄 ↓ プラント解体 ↓ 機械材搬出 二重管ダブルパッカー工法（注入） 機械材搬入 ↓ プラント据付 ↓ 足場架設 ↓ 機械準備 ↓ 1 次(2 次)注入 ↓ 土被り部引抜 ↓ 器具洗浄 ↓ プラント解体 ↓ 機械材搬出 (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分である。 2. プラントとは、グラウトミキサ、薬液ミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、グラウトポンプ、薬液注入ポンプ、貯水槽、貯液槽、グラウト流量・圧力測定装置、水ガラス積算流量計、ボーリングマシン等、注入工に要する設備全般を示す。 図2.1 施工フロー図	歩掛改定に伴う記載の修正
積算上の注意事項			

改 正 理 由		一部改正				改 正 現 行																																																																																																																																																											
現 行						改 正				備 考																																																																																																																																																							
3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 表3. 1 二重管ストレーナ工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="3">機 種</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">数 量</th><th rowspan="3">摘要</th></tr><tr><th colspan="2">単 相 方 式</th><th colspan="2">複 相 方 式</th></tr><tr><th>2 セット</th><th>4 セット</th><th>2 セット</th><th>4 セット</th></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>油圧式 5.5kW 級</td><td>台</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>薬液注入ポンプ</td><td>吐出量 5～200ℓ/min×2 (圧力 9.8MPa)</td><td>#</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>水ガラス積算流量計</td><td>0～500ℓ/min</td><td>#</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(注)2</td></tr></table> (注) 1. 施工本数が 100 本未満の場合は 2 セット、100 本以上の場合は 4 セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量 500kℓ 以上の場合に計上する。 表3. 2 二重管ダブルパッカー工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="4">機 種</th><th rowspan="4">規 格</th><th rowspan="4">単位</th><th colspan="5">数 量</th><th rowspan="4">摘 要</th></tr><tr><th colspan="2" rowspan="2">削 孔</th><th colspan="2">一次注入</th><th colspan="2">二次注入</th></tr><tr><th>セメント</th><th>溶液型</th><th>溶液型</th></tr><tr><th>1セット</th><th>2セット</th><th>ベントナイト注入</th><th>有機系注入</th><th>無機系注入</th></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW 級</td><td>台</td><td>1</td><td>2</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>薬液注入ポンプ</td><td>吐出量 0～200ℓ/min×2 (圧力 9.8MPa)</td><td>#</td><td>—</td><td>—</td><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td></td></tr><tr><td>ゲルミキサ</td><td>3000ℓ 1 槽</td><td>#</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>ミキシング プラント</td><td>3,000ℓ/h</td><td>#</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>水ガラス積算流量計</td><td>0～500ℓ/min</td><td>#</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(注) 2</td></tr></table> (注) 1. 削孔は施工本数が 200 本未満の場合は 1 セット、200 本以上の場合は 2 セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量 500kℓ 以上の場合に計上する。						機 種	規 格	単位	数 量				摘要	単 相 方 式		複 相 方 式		2 セット	4 セット	2 セット	4 セット	ボーリングマシン	油圧式 5.5kW 級	台	2	4	2	4		薬液注入ポンプ	吐出量 5～200ℓ/min×2 (圧力 9.8MPa)	#	2	4	2	4		水ガラス積算流量計	0～500ℓ/min	#	(1)	(1)	(1)	(1)	(注)2	機 種	規 格	単位	数 量					摘 要	削 孔		一次注入		二次注入		セメント	溶液型	溶液型	1セット	2セット	ベントナイト注入	有機系注入	無機系注入	ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW 級	台	1	2	—	—	—		薬液注入ポンプ	吐出量 0～200ℓ/min×2 (圧力 9.8MPa)	#	—	—	2	2	2		ゲルミキサ	3000ℓ 1 槽	#	—	—	—	1	—		ミキシング プラント	3,000ℓ/h	#	—	—	—	—	1		水ガラス積算流量計	0～500ℓ/min	#	—	—	—	(1)	(1)	(注) 2	3. 機 種 の 選 定 機械・規格は、次表を標準とする。 表3. 1 二重管ストレーナ工法の機種の選定 <table><tr><th rowspan="3">機 種</th><th rowspan="3">規 格</th><th rowspan="3">単位</th><th colspan="4">数 量</th><th rowspan="3">摘要</th></tr><tr><th colspan="2">単 相 方 式</th><th colspan="2">複 相 方 式</th></tr><tr><th>2 セット</th><th>4 セット</th><th>2 セット</th><th>4 セット</th></tr><tr><td>ボーリングマシン</td><td>油圧式 5.5kW 級</td><td>台</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>薬液注入ポンプ</td><td>吐出量 5～200ℓ/min×2 (圧力 9.8MPa)</td><td>#</td><td>2</td><td>4</td><td>2</td><td>4</td><td></td></tr><tr><td>水ガラス積算流量計</td><td>0～500ℓ/min</td><td>#</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(1)</td><td>(注)2</td></tr></table> (注) 1. 施工本数が 100 本未満の場合は 2 セット、100 本以上の場合は 4 セットを標準とする。 2. 水ガラス積算流量計は、総注入量 500kℓ 以上の場合に計上する。						機 種	規 格	単位	数 量				摘要	単 相 方 式		複 相 方 式		2 セット	4 セット	2 セット	4 セット	ボーリングマシン	油圧式 5.5kW 級	台	2	4	2	4		薬液注入ポンプ	吐出量 5～200ℓ/min×2 (圧力 9.8MPa)	#	2	4	2	4		水ガラス積算流量計	0～500ℓ/min	#	(1)	(1)	(1)	(1)	(注)2	歩掛改定に伴う記載の修正	
機 種	規 格	単位	数 量						摘要																																																																																																																																																								
			単 相 方 式		複 相 方 式																																																																																																																																																												
			2 セット	4 セット	2 セット	4 セット																																																																																																																																																											
ボーリングマシン	油圧式 5.5kW 級	台	2	4	2	4																																																																																																																																																											
薬液注入ポンプ	吐出量 5～200ℓ/min×2 (圧力 9.8MPa)	#	2	4	2	4																																																																																																																																																											
水ガラス積算流量計	0～500ℓ/min	#	(1)	(1)	(1)	(1)	(注)2																																																																																																																																																										
機 種	規 格	単位	数 量					摘 要																																																																																																																																																									
			削 孔		一次注入		二次注入																																																																																																																																																										
					セメント	溶液型	溶液型																																																																																																																																																										
			1セット	2セット	ベントナイト注入	有機系注入	無機系注入																																																																																																																																																										
ボーリングマシン	ロータリーパーカッション式 クローラ型 81kW 級	台	1	2	—	—	—																																																																																																																																																										
薬液注入ポンプ	吐出量 0～200ℓ/min×2 (圧力 9.8MPa)	#	—	—	2	2	2																																																																																																																																																										
ゲルミキサ	3000ℓ 1 槽	#	—	—	—	1	—																																																																																																																																																										
ミキシング プラント	3,000ℓ/h	#	—	—	—	—	1																																																																																																																																																										
水ガラス積算流量計	0～500ℓ/min	#	—	—	—	(1)	(1)	(注) 2																																																																																																																																																									
機 種	規 格	単位	数 量				摘要																																																																																																																																																										
			単 相 方 式		複 相 方 式																																																																																																																																																												
			2 セット	4 セット	2 セット	4 セット																																																																																																																																																											
ボーリングマシン	油圧式 5.5kW 級	台	2	4	2	4																																																																																																																																																											
薬液注入ポンプ	吐出量 5～200ℓ/min×2 (圧力 9.8MPa)	#	2	4	2	4																																																																																																																																																											
水ガラス積算流量計	0～500ℓ/min	#	(1)	(1)	(1)	(1)	(注)2																																																																																																																																																										
現行どおり																																																																																																																																																																	
積算上の注意事項						(控え頁) 2／8																																																																																																																																																											

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行																																																																							
現 行		改 正		備 考																																																																						
図3. 1 施工図(二重管ストレーナ工法)  図3. 2 施工図(二重管ダブルバッカー工法)  4. 編 成 人 員 薬液注入工の日当り編成人員は、次表を標準とする。 <table><caption>表4. 1 二重管ストレーナ工法の日当り編成人員 (人/日)</caption><tr><th>工 法</th><th>セット数</th><th>土木一般世話役</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td rowspan="2">単相方式</td><td>2セット</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>4セット</td><td>1</td><td>6</td><td>2</td></tr><tr><td rowspan="2">複相方式</td><td>2セット</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>4セット</td><td>1</td><td>6</td><td>2</td></tr></table> 表4. 2 二重管ダブルバッカー工法の日当り編成人員 (人/日) <table><tr><th>条 件</th><th>セット数</th><th>土木一般世話役</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td rowspan="2">削 孔 時</td><td>1セット</td><td>1</td><td>3</td><td>1</td></tr><tr><td>2セット</td><td>1</td><td>5</td><td>2</td></tr><tr><td>一次注入時</td><td>4セット</td><td>1</td><td>5</td><td>2</td></tr><tr><td>二次注入時</td><td>4セット</td><td>1</td><td>5</td><td>2</td></tr></table> (注) 1. 上表は削孔時1セット、2セット分、一次注入時及び二次注入時は4セット分の人員である。 2. 注入材等の混合に要する労務を含む。		工 法	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	単相方式	2セット	1	3	2	4セット	1	6	2	複相方式	2セット	1	3	2	4セット	1	6	2	条 件	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	削 孔 時	1セット	1	3	1	2セット	1	5	2	一次注入時	4セット	1	5	2	二次注入時	4セット	1	5	2	図3. 1 施工図(二重管ストレーナ工法)  図3. 2 施工図(二重管ダブルバッカー工法)  4. 編 成 人 員 薬液注入工の日当り編成人員は、次表を標準とする。 <table><caption>表4. 1 二重管ストレーナ工法の日当り編成人員 (人/日)</caption><tr><th>工 法</th><th>セット数</th><th>土木一般世話役</th><th>特殊作業員</th><th>普通作業員</th></tr><tr><td rowspan="2">単相方式</td><td>2セット</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>4セット</td><td>1</td><td>6</td><td>2</td></tr><tr><td rowspan="2">複相方式</td><td>2セット</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td></tr><tr><td>4セット</td><td>1</td><td>6</td><td>2</td></tr></table>		工 法	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員	単相方式	2セット	1	3	2	4セット	1	6	2	複相方式	2セット	1	3	2	4セット	1	6	2	歩掛改定に伴う記載の修正
工 法	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																						
単相方式	2セット	1	3	2																																																																						
	4セット	1	6	2																																																																						
複相方式	2セット	1	3	2																																																																						
	4セット	1	6	2																																																																						
条 件	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																						
削 孔 時	1セット	1	3	1																																																																						
	2セット	1	5	2																																																																						
一次注入時	4セット	1	5	2																																																																						
二次注入時	4セット	1	5	2																																																																						
工 法	セット数	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員																																																																						
単相方式	2セット	1	3	2																																																																						
	4セット	1	6	2																																																																						
複相方式	2セット	1	3	2																																																																						
	4セット	1	6	2																																																																						
積算上の注意事項				(控え頁) 3/8																																																																						

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行		備 考									
5. 施 工 歩 掛				改 正				備 考									
5-1 二重管ストレーナ工法				改 正				備 考									
(1) 1本当り施工時間 (T _s)				改 正				備 考									
二重管ストレーナ工法における1本当り施工時間は、次式による。				改 正				備 考									
T _s =T ₁ +T ₂ +T ₃ +T ₄				改 正				備 考									
T _s :二重管ストレーナ工法1本当り施工時間 (min)				改 正				備 考									
T ₁ :機械準備時間 (min)				改 正				備 考									
T ₂ :削孔時間 (min)				改 正				備 考									
T ₃ :注入時間 (min)				改 正				備 考									
T ₄ :上被り部引抜時間 (min)				改 正				備 考									
1) 機械準備時間 (T ₁)				改 正				備 考									
機械準備時間は、機械移動、機械据付及び注入後の器具洗浄時間であり14分とする。				改 正				備 考									
なお、打設間隔は1mを標準とする。				改 正				備 考									
2) 削孔時間 (T ₂)				改 正				備 考									
T ₂ =Σ (γ _i ×ℓ ₀)				改 正				備 考									
γ _i :各土質の削孔の単位作業時間 (min/m)				改 正				備 考									
ℓ ₀ :各土質毎の削孔長 (m)				改 正				備 考									
表5.1 削孔の単位作業時間(γ _i) (min/m)				改 正				備 考									
<table><tr><td>土 質</td><td>レキ質土</td><td>砂 質 土</td><td>粘 性 土</td></tr><tr><td>γ_i</td><td>8.0</td><td>5.0</td><td>4.0</td></tr></table>				土 質	レキ質土	砂 質 土	粘 性 土	γ _i	8.0	5.0	4.0	改 正				備 考	
土 質	レキ質土	砂 質 土	粘 性 土														
γ _i	8.0	5.0	4.0														
3) 注入時間 (T ₃)				改 正				備 考									
T ₃ =Q _s /q _s				改 正				備 考									
Q _s :二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ)				改 正				備 考									
q _s :単位時間当り注入量 (ℓ/min)				改 正				備 考									
表5.2 単位時間当り注入量(q _s) (ℓ/min)				改 正				備 考									
<table><tr><td>工 法 名</td><td>単 相 方 式</td><td>複 相 方 式</td></tr><tr><td>q_s</td><td>18</td><td>16</td></tr></table>				工 法 名	単 相 方 式	複 相 方 式	q _s	18	16	改 正				備 考			
工 法 名	単 相 方 式	複 相 方 式															
q _s	18	16															
4) 土被り部引抜時間 (T ₄)				改 正				備 考									
T ₄ =γ ₂ ×ℓ ₂				改 正				備 考									
γ ₂ :土被り部引抜の単位作業時間 (min/m)				改 正				備 考									
ℓ ₂ :土被り長 (m)				改 正				備 考									
表5.3 土被り部引抜の単位作業時間(γ ₂) (min/m)				改 正				備 考									
<table><tr><td>γ₂</td><td>2.0</td></tr></table>				γ ₂	2.0	改 正				備 考							
γ ₂	2.0																
(2) 注入材使用量				改 正				備 考									
二重管ストレーナ工法に必要な使用量は、次式による。				改 正				備 考									
Q _s =V×λ×1,000……式5.1				改 正				備 考									
Q _s :二重管ストレーナ工法の1本当り注入量 (ℓ)				改 正				備 考									
V:二重管ストレーナ工法の1本当り対象注入土量 (m ³)				改 正				備 考									
λ:注入率				改 正				備 考									
(3) 1日当り施工本数				改 正				備 考									
二重管ストレーナ工法における1日当り施工本数は、次式による。				改 正				備 考									
N=60×H/T _s ×2 (4)				改 正				備 考									
N:2 (4)セット1日当り施工本数 (本/日)				改 正				備 考									
H:注入設備の1日当り実作業時間で6.3時間とする。				改 正				備 考									
T _s :1本当り施工時間 (min)				改 正				備 考									
II-2-⑫-4				改 正				備 考									
積算上の注意事項				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正				備 考									
				改 正													

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																															
現 行					改 正					備 考																											
(4) 諸雑費 二重管ストレーナ工法の1本当り諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、薬液ミキサ、グラウトミキサ、送水ポンプ、送液ポンプ、貯水槽、貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表5.4 二重管ストレーナ工法の諸雑费率 (%) <table><tr><th>工 法</th><th>セット数</th><th>諸雑费率</th></tr><tr><td rowspan="2">単 相 方 式</td><td>2</td><td>19</td></tr><tr><td>4</td><td>18</td></tr><tr><td rowspan="2">複 相 方 式</td><td>2</td><td>20</td></tr><tr><td>4</td><td>19</td></tr></table>					工 法	セット数	諸雑费率	単 相 方 式	2	19	4	18	複 相 方 式	2	20	4	19	(4) 諸雑費 二重管ストレーナ工法の1本当り諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、薬液ミキサ、グラウトミキサ、送水ポンプ、送液ポンプの損料、薬液ミキサ、貯水槽、貯液槽の損料賃料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 表5.4 二重管ストレーナ工法の諸雑费率 (%) <table><tr><th>工 法</th><th>セット数</th><th>諸雑费率</th></tr><tr><td rowspan="2">単 相 方 式</td><td>2</td><td>19</td></tr><tr><td>4</td><td>18</td></tr><tr><td rowspan="2">複 相 方 式</td><td>2</td><td>20</td></tr><tr><td>4</td><td>19</td></tr></table>					工 法	セット数	諸雑费率	単 相 方 式	2	19	4	18	複 相 方 式	2	20	4	19	歩掛改定に伴う記載の修正	
工 法	セット数	諸雑费率																																			
単 相 方 式	2	19																																			
	4	18																																			
複 相 方 式	2	20																																			
	4	19																																			
工 法	セット数	諸雑费率																																			
単 相 方 式	2	19																																			
	4	18																																			
複 相 方 式	2	20																																			
	4	19																																			
5-2 二重管ダブルバッカー工法 (1) 1本当り削孔施工時間 (T_D) 二重管ダブルバッカー工法における1本当り削孔施工時間は、次式による。 T_D = T₁ + T₂ + T₃ T_D : 二重管ダブルバッカー工法1本当り削孔時間 (min) T₁ : 機械準備時間 (min) T₂ : 削孔時間 (min) T₃ : 薬液注入管準備時間 (min) 1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり14分とする。 なお、打設間隔は1mを標準とする。 2) 削孔時間 (T₂) 各土質における削孔時間は、次式とする。 T₂ = Σ (γ_i × θ_α) γ_i : 各土質毎の削孔の単位作業時間 (min/m) θ_α : 各土質毎の削孔長 (m) 表5.5 削孔の単位作業時間 (γ_i) (min/m) <table><tr><th>土 質</th><th>レ キ 質 土</th><th>砂 質 土</th><th>粘 性 土</th></tr><tr><td>γ_i</td><td>6.0</td><td>5.0</td><td>3.0</td></tr></table>					土 質	レ キ 質 土	砂 質 土	粘 性 土	γ _i	6.0	5.0	3.0	現行どおり																								
土 質	レ キ 質 土	砂 質 土	粘 性 土																																		
γ _i	6.0	5.0	3.0																																		
(2) 1本当り一次注入施工時間 (T_H) 二重管ダブルバッカー工法における一次注入の1本当り注入施工時間は、次式による。 T_H = T₁ + T₂ + T₃ T_H : 二重管ダブルバッカー工法一次注入の1本当り注入時間 (min) T₁ : 機械準備時間 (min) T₂ : 注入時間 (min) T₃ : 土被り部引抜時間 (min) 1) 機械準備時間 (T₁) 機械準備時間は、機械移動、機械据付及び器具洗浄時間であり13分とする。 II-2-⑫-5																																					
積算上の注意事項										(控え頁) 5/8																											

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由	一部改正		改 正																																			
			現 行																																			
現 行		改 正		備 考																																		
2) 一次注入材料 Q_{P1}＝V×λ×1,000………式 5.3 Q_{P1}：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入量（ℓ） V：二重管ダブルバッカー工法の一次注入の1本当り注入対象土量（m³） λ：注入率 3) 二次注入材料 Q_{P2}＝V×λ×1,000………式 5.4 Q_{P2}：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入量（ℓ） V：二重管ダブルバッカー工法の二次注入の1本当り注入対象土量（m³） λ：注入率 (5) 1日当り施工本数 二重管ダブルバッカー工法における削孔、一次注入、二次注入の1日当り施工本数は、次式とする。 1) 削孔 N＝60×H／T_B（×2） N：1（2）セット1日当り削孔施工本数（本／日） H：削孔設備の1日当り実作業時間で、6.5時間とする。 T_B：1本当り削孔時間（min） 2) 一次注入 N＝60×H／T_{P1}×4 N：4セット1日当り注入施工本数（本／日） H：注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。 T_{P1}：1本当り注入時間（min） 3) 二次注入 N＝60×H／T_{P2}×4 N：4セット1日当り注入施工本数（本／日） H：注入設備の1日当り実作業時間で、7.3時間とする。 T_{P2}：1本当り注入時間（min） (6) 諸雑費 二重管ダブルバッカー工法削孔時の諸雑費は、グラウトポンプ・グラウトミキサ・送水ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、一次注入及び二次注入時の諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、グラウトミキサ・バッカー加圧ポンプ・送水ポンプ・送液ポンプ、貯水槽・貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 <table><caption>表5.12 二重管ダブルバッカー工法の諸雑費率（％）</caption><tr><th>条 件</th><th>セット数</th><th>諸雑費率</th></tr><tr><td rowspan="2">削 孔</td><td>1</td><td>9</td></tr><tr><td>2</td><td>6</td></tr><tr><td>一 次 注 入</td><td>4</td><td>26</td></tr><tr><td>二次注入有機系</td><td>4</td><td>25</td></tr><tr><td>二次注入無機系</td><td>4</td><td>20</td></tr></table> II-2-⑫-7		条 件	セット数	諸雑費率	削 孔	1	9	2	6	一 次 注 入	4	26	二次注入有機系	4	25	二次注入無機系	4	20	現行どおり (6) 諸雑費 二重管ダブルバッカー工法削孔時の諸雑費は、グラウトポンプ・グラウトミキサ・送水ポンプ・貯水槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、一次注入及び二次注入時の諸雑費は、グラウト流量・圧力測定装置、グラウトミキサ・バッカー加圧ポンプ・送水ポンプ・送液ポンプ、貯水槽・貯液槽の損料及び電力に関する経費等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額（水ガラス積算流量計は除く）に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。 <table><caption>表5.12 二重管ダブルバッカー工法の諸雑費率（％）</caption><tr><th>条 件</th><th>セット数</th><th>諸雑費率</th></tr><tr><td rowspan="2">削 孔</td><td>1</td><td>98</td></tr><tr><td>2</td><td>6</td></tr><tr><td>一 次 注 入</td><td>4</td><td>2625</td></tr><tr><td>二次注入有機系</td><td>4</td><td>25</td></tr><tr><td>二次注入無機系</td><td>4</td><td>2021</td></tr></table>		条 件	セット数	諸雑費率	削 孔	1	98	2	6	一 次 注 入	4	2625	二次注入有機系	4	25	二次注入無機系	4	2021	歩掛改定に伴う記載の修正
条 件	セット数	諸雑費率																																				
削 孔	1	9																																				
	2	6																																				
一 次 注 入	4	26																																				
二次注入有機系	4	25																																				
二次注入無機系	4	20																																				
条 件	セット数	諸雑費率																																				
削 孔	1	98																																				
	2	6																																				
一 次 注 入	4	2625																																				
二次注入有機系	4	25																																				
二次注入無機系	4	2021																																				
積算上の注意事項				(控え頁) 6／8																																		

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正																																																																																																																	
		現 行		現 行																																																																																																																	
現 行				改 正				備 考																																																																																																													
5－3 消耗材料費 5－3－1 消耗材料量 (1) 二重管ストレーナ工法 1) 削孔材料消耗量				5－3 消耗材料費 5－3－1 消耗材料量 (1) 二重管ストレーナ工法 1) 削孔材料消耗量				歩掛改定に伴う記載の修正																																																																																																													
表5.13 削孔材料消耗量 (削孔径 φ40.5mm 削孔長 1.0m 当り) <table><tr><th rowspan="2">品 名</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">レキ質土</th><th colspan="2">砂質土</th><th colspan="2">粘性土</th></tr><tr><th>単 相</th><th>複 相</th><th>単 相</th><th>複 相</th><th>単 相</th><th>複 相</th></tr><tr><td>二重管ボーリングロッド</td><td>m</td><td>0.05</td><td>0.05</td><td>0.03</td><td>0.03</td><td>0.02</td><td>0.02</td></tr><tr><td>メタルクラウン φ41mm</td><td>個</td><td>0.30</td><td>0.30</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>0.03</td><td>0.03</td></tr><tr><td>単相用グラウトモニタ φ40.5mm</td><td>#</td><td>0.005</td><td>—</td><td>0.003</td><td>—</td><td>0.002</td><td>—</td></tr><tr><td>複相用グラウトモニタ φ40.5mm</td><td>#</td><td>—</td><td>0.005</td><td>—</td><td>0.003</td><td>—</td><td>0.002</td></tr><tr><td>その他の雑品</td><td>%</td><td>15</td><td>11</td><td>23</td><td>17</td><td>23</td><td>16</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は鉛直方向への削孔のみに適用する。 2. 二重管ボーリングロッドは 3.0m/本とする。 3. その他雑品には、ロッドカップリング、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ドライバー、カッター、スラントルール、水切りモップ等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。				品 名	単 位	レキ質土				砂質土		粘性土		単 相	複 相	単 相	複 相	単 相	複 相	二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02	メタルクラウン φ41mm	個	0.30	0.30	0.04	0.04	0.03	0.03	単相用グラウトモニタ φ40.5mm	#	0.005	—	0.003	—	0.002	—	複相用グラウトモニタ φ40.5mm	#	—	0.005	—	0.003	—	0.002	その他の雑品	%	15	11	23	17	23	16	表5.13 削孔材料消耗量 (削孔径 φ40.5mm 削孔長 1.0m 当り) <table><tr><th rowspan="2">品 名</th><th rowspan="2">単 位</th><th colspan="2">レキ質土</th><th colspan="2">砂質土</th><th colspan="2">粘性土</th></tr><tr><th>単 相</th><th>複 相</th><th>単 相</th><th>複 相</th><th>単 相</th><th>複 相</th></tr><tr><td>二重管ボーリングロッド</td><td>m</td><td>0.05</td><td>0.05</td><td>0.03</td><td>0.03</td><td>0.02</td><td>0.02</td></tr><tr><td>メタルクラウン φ41mm</td><td>個</td><td>0.30</td><td>0.30</td><td>0.04</td><td>0.04</td><td>0.03</td><td>0.03</td></tr><tr><td>単相用グラウトモニタ φ40.5mm</td><td>#</td><td>0.005</td><td>—</td><td>0.003</td><td>—</td><td>0.002</td><td>—</td></tr><tr><td>複相用グラウトモニタ φ40.5mm</td><td>#</td><td>—</td><td>0.005</td><td>—</td><td>0.003</td><td>—</td><td>0.002</td></tr><tr><td>その他の雑品</td><td>%</td><td>15</td><td>11</td><td>23</td><td>17</td><td>23</td><td>16</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は鉛直方向への削孔のみに適用する。 2. 二重管ボーリングロッドは 3.0m/本とする。 3. その他雑品には、ロッドカップリング、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ドライバー、カッター、スラントルール、水切りモップ等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。				品 名	単 位	レキ質土		砂質土		粘性土		単 相	複 相	単 相	複 相	単 相	複 相	二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02	メタルクラウン φ41mm	個	0.30	0.30	0.04	0.04	0.03	0.03	単相用グラウトモニタ φ40.5mm	#	0.005	—	0.003	—	0.002	—	複相用グラウトモニタ φ40.5mm	#	—	0.005	—	0.003	—	0.002	その他の雑品	%	15	11	23	17	23	16
品 名	単 位	レキ質土				砂質土				粘性土																																																																																																											
		単 相	複 相	単 相	複 相	単 相	複 相																																																																																																														
二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02																																																																																																														
メタルクラウン φ41mm	個	0.30	0.30	0.04	0.04	0.03	0.03																																																																																																														
単相用グラウトモニタ φ40.5mm	#	0.005	—	0.003	—	0.002	—																																																																																																														
複相用グラウトモニタ φ40.5mm	#	—	0.005	—	0.003	—	0.002																																																																																																														
その他の雑品	%	15	11	23	17	23	16																																																																																																														
品 名	単 位	レキ質土		砂質土		粘性土																																																																																																															
		単 相	複 相	単 相	複 相	単 相	複 相																																																																																																														
二重管ボーリングロッド	m	0.05	0.05	0.03	0.03	0.02	0.02																																																																																																														
メタルクラウン φ41mm	個	0.30	0.30	0.04	0.04	0.03	0.03																																																																																																														
単相用グラウトモニタ φ40.5mm	#	0.005	—	0.003	—	0.002	—																																																																																																														
複相用グラウトモニタ φ40.5mm	#	—	0.005	—	0.003	—	0.002																																																																																																														
その他の雑品	%	15	11	23	17	23	16																																																																																																														
2) 注入材料消耗量				2) 注入材料消耗量																																																																																																																	
表5.14 注入材料消耗量 (注入量 1,000ℓ 当り) <table><tr><th>品 名</th><th>単 位</th><th>単 相</th><th>複 相</th><th>備 考</th></tr><tr><td>グラウトモニタ φ40.5mm</td><td>個</td><td>0.02</td><td>—</td><td>単相用</td></tr><tr><td>グラウトモニタ φ40.5mm</td><td>#</td><td>—</td><td>0.02</td><td>複相用</td></tr><tr><td>注入ホース類 φ12mm</td><td>組</td><td>0.005</td><td>—</td><td>P＝4.9MPa (50kgf/cm²) L＝50m×2</td></tr><tr><td>注入ホース類 φ12mm</td><td>#</td><td>—</td><td>0.005</td><td>P＝4.9MPa (50kgf/cm²) L＝50m×3</td></tr><tr><td>サクシヨンホース φ38mm</td><td>#</td><td>0.003</td><td>—</td><td>L＝3m×2</td></tr><tr><td>サクシヨンホース φ38mm</td><td>#</td><td>—</td><td>0.003</td><td>L＝3m×3</td></tr><tr><td>その他雑品</td><td>%</td><td>42</td><td>25</td><td></td></tr></table> (注) その他雑品には、二重管スイベル、スイベルカバー、継手類、ホース、ポンプ、流量計、分流バルブ、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ウェス、スコップ、土のう等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。				品 名	単 位	単 相	複 相	備 考	グラウトモニタ φ40.5mm	個	0.02	—	単相用	グラウトモニタ φ40.5mm	#	—	0.02	複相用	注入ホース類 φ12mm	組	0.005	—	P＝4.9MPa (50kgf/cm ²) L＝50m×2	注入ホース類 φ12mm	#	—	0.005	P＝4.9MPa (50kgf/cm ²) L＝50m×3	サクシヨンホース φ38mm	#	0.003	—	L＝3m×2	サクシヨンホース φ38mm	#	—	0.003	L＝3m×3	その他雑品	%	42	25		表5.14 注入材料消耗量 (注入量 1,000ℓ 当り) <table><tr><th>品 名</th><th>単 位</th><th>単 相</th><th>複 相</th><th>備 考</th></tr><tr><td>グラウトモニタ φ40.5mm</td><td>個</td><td>0.02</td><td>—</td><td>単相用</td></tr><tr><td>グラウトモニタ φ40.5mm</td><td>#</td><td>—</td><td>0.02</td><td>複相用</td></tr><tr><td>注入ホース類 φ12mm</td><td>組</td><td>0.005</td><td>—</td><td>P＝4.9MPa (50kgf/cm²) L＝50m×2</td></tr><tr><td>注入ホース類 φ12mm</td><td>#</td><td>—</td><td>0.005</td><td>P＝4.9MPa (50kgf/cm²) L＝50m×3</td></tr><tr><td>サクシヨンホース φ38mm</td><td>#</td><td>0.003</td><td>—</td><td>L＝3m×2</td></tr><tr><td>サクシヨンホース φ38mm</td><td>#</td><td>—</td><td>0.003</td><td>L＝3m×3</td></tr><tr><td>その他雑品</td><td>%</td><td>42</td><td>25</td><td></td></tr></table> (注) その他雑品には、二重管スイベル、スイベルカバー、継手類、ホース、ポンプ、流量計、分流バルブ、圧力計、パイプレンチ、ペンチ、ウェス、スコップ、土のう等を含み、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。				品 名	単 位	単 相	複 相	備 考	グラウトモニタ φ40.5mm	個	0.02	—	単相用	グラウトモニタ φ40.5mm	#	—	0.02	複相用	注入ホース類 φ12mm	組	0.005	—	P＝4.9MPa (50kgf/cm ²) L＝50m×2	注入ホース類 φ12mm	#	—	0.005	P＝4.9MPa (50kgf/cm ²) L＝50m×3	サクシヨンホース φ38mm	#	0.003	—	L＝3m×2	サクシヨンホース φ38mm	#	—	0.003	L＝3m×3	その他雑品	%	42	25																															
品 名	単 位	単 相	複 相	備 考																																																																																																																	
グラウトモニタ φ40.5mm	個	0.02	—	単相用																																																																																																																	
グラウトモニタ φ40.5mm	#	—	0.02	複相用																																																																																																																	
注入ホース類 φ12mm	組	0.005	—	P＝4.9MPa (50kgf/cm ²) L＝50m×2																																																																																																																	
注入ホース類 φ12mm	#	—	0.005	P＝4.9MPa (50kgf/cm ²) L＝50m×3																																																																																																																	
サクシヨンホース φ38mm	#	0.003	—	L＝3m×2																																																																																																																	
サクシヨンホース φ38mm	#	—	0.003	L＝3m×3																																																																																																																	
その他雑品	%	42	25																																																																																																																		
品 名	単 位	単 相	複 相	備 考																																																																																																																	
グラウトモニタ φ40.5mm	個	0.02	—	単相用																																																																																																																	
グラウトモニタ φ40.5mm	#	—	0.02	複相用																																																																																																																	
注入ホース類 φ12mm	組	0.005	—	P＝4.9MPa (50kgf/cm ²) L＝50m×2																																																																																																																	
注入ホース類 φ12mm	#	—	0.005	P＝4.9MPa (50kgf/cm ²) L＝50m×3																																																																																																																	
サクシヨンホース φ38mm	#	0.003	—	L＝3m×2																																																																																																																	
サクシヨンホース φ38mm	#	—	0.003	L＝3m×3																																																																																																																	
その他雑品	%	42	25																																																																																																																		
(2) 二重管ダブルバック工法 1) 削孔材料消耗量				現行どおり																																																																																																																	
表5.15 削孔材料消耗量 (ケーシング削孔径 96mm 削孔長 1.0m 当り) <table><tr><th>品 名</th><th>単 位</th><th>レキ質土</th><th>砂質土</th><th>粘性土</th></tr><tr><td>ケーシング φ96mm (カップリング付)</td><td>個</td><td>0.0167</td><td>0.0055</td><td>0.0040</td></tr><tr><td>ウォータースイベル φ96mm</td><td>#</td><td>0.0028</td><td>0.0009</td><td>0.0007</td></tr><tr><td>シャंकロッド</td><td>#</td><td>0.0083</td><td>0.0030</td><td>0.0025</td></tr><tr><td>その他雑品</td><td>%</td><td>41</td><td>49</td><td>55</td></tr></table> (注) 1. 本歩掛は鉛直方向への削孔のみに適用する。 2. その他雑品には、シャंकアダプタ、リングビット等が含まれており、上記合計額に率を乗じた金額を上限として計上する。				品 名	単 位	レキ質土	砂質土	粘性土	ケーシング φ96mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040	ウォータースイベル φ96mm	#	0.0028	0.0009	0.0007	シャंकロッド	#	0.0083	0.0030	0.0025	その他雑品	%	41	49	55																																																																																									
品 名	単 位	レキ質土	砂質土	粘性土																																																																																																																	
ケーシング φ96mm (カップリング付)	個	0.0167	0.0055	0.0040																																																																																																																	
ウォータースイベル φ96mm	#	0.0028	0.0009	0.0007																																																																																																																	
シャंकロッド	#	0.0083	0.0030	0.0025																																																																																																																	
その他雑品	%	41	49	55																																																																																																																	
II-2-⑫-8																																																																																																																					
積算上の注意事項		(控え頁)																																																																																																																			
		7／8																																																																																																																			

工 種	薬液注入工
-----	-------

改 正 理 由		一部改正		改 正		現 行																																																																																																																																																																																																																																																
現 行				改 正				備 考																																																																																																																																																																																																																																														
7. 施工単価入力基準表 (1) 二重管ストレナーナ工法 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223710</td><td colspan="2">施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="8">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td>J 6</td><td>J 7</td><td>J 8</td><td>J 9</td></tr><tr><td>注入方式</td><td>セット数</td><td>レキ質土の削孔長</td><td>砂質土の削孔長</td><td>粘性土の削孔長</td><td>土被り長 (ℓ₂)</td><td>1本当り注入量 (Q₀)</td><td>水ガラス積算流量計の有無</td><td>特許料の有無</td></tr><tr><td>①単相方式</td><td>①2セット</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (ℓ)</td><td rowspan="2">①無 ②有</td><td rowspan="2">①無 ②有</td></tr><tr><td>②複相方式</td><td>②4セット</td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円/ℓ] を単価登録すること。 2. J 9 条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円/ℓ] を単価登録すること。 (2) 二重管ダブルバッカー工法 (削孔工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223720</td><td colspan="2">施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="8">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>セット数</td><td>レキ質土の削孔長</td><td>砂質土の削孔長</td><td>粘性土の削孔長</td><td>土被り長 (ℓ₂)</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>① 1 セット</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>② 2 セット</td></tr></table> (注) グラウト材単価 (Y-1635000) [円/ℓ]、薬液注入管 (注入部) 単価 (Y-1642000) [円/ｍ]、薬液注入管 (土被り部) 単価 (Y-1643000) [円/ｍ] を単価登録すること。 (3) 二重管ダブルバッカー工法 (一次注入工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223730</td><td colspan="2">施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="8">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td colspan="6"></td></tr><tr><td>土 被 り 長 (ℓ₂)</td><td>1 本当り注入量 (Q₀₁)</td><td>特許料の有無</td><td colspan="6"></td></tr><tr><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (ℓ)</td><td>①無 ②有</td><td colspan="6"></td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円/ℓ] を単価登録すること。 2. J 3 条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円/ℓ] を単価登録すること。 (4) 二重管ダブルバッカー工法 (二次注入工) <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223740</td><td colspan="2">施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="8">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2</td><td>J 3</td><td>J 4</td><td>J 5</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>注入材種別</td><td>土 被 り 長 (ℓ₂)</td><td>1 本当り注入量 (Q₀₂)</td><td>水ガラス積算流量計の有無</td><td>特許料の有無</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td>①溶液型有機系 ②溶液型無機系</td><td>(実数入力) (m)</td><td>(実数入力) (ℓ)</td><td>①無 ②有</td><td>①無 ②有</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円/ℓ] を単価登録すること。 2. J 5 条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円/ℓ] を単価登録すること。				施工歩掛コード	WB223710		施工単位		本		施工区分	入 力 条 件								各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8	J 9	注入方式	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q ₀)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無	①単相方式	①2セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有	②複相方式	②4セット	施工歩掛コード	WB223720		施工単位		本		施工区分	入 力 条 件								各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5					セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)					① 1 セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)					② 2 セット	施工歩掛コード	WB223730		施工単位		本		施工区分	入 力 条 件								各 種	J 1	J 2	J 3							土 被 り 長 (ℓ ₂)	1 本当り注入量 (Q ₀₁)	特許料の有無							(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有													施工歩掛コード	WB223740		施工単位		本		施工区分	入 力 条 件								各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5					注入材種別	土 被 り 長 (ℓ ₂)	1 本当り注入量 (Q ₀₂)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無					①溶液型有機系 ②溶液型無機系	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有											7. 施工単価入力基準表 (1) 二重管ストレナーナ工法 <table><tr><td>施工歩掛コード</td><td colspan="2">WB223710</td><td colspan="2">施工単位</td><td colspan="2">本</td></tr><tr><td>施工区分</td><td colspan="8">入 力 条 件</td></tr><tr><td rowspan="4">各 種</td><td>J 1</td><td>J 2 1</td><td>J 3 2</td><td>J 4 3</td><td>J 5 4</td><td>J 6 5</td><td>J 7 6</td><td>J 8 7</td><td>J 9 8</td></tr><tr><td>注入方式</td><td>セット数</td><td>レキ質土の削孔長</td><td>砂質土の削孔長</td><td>粘性土の削孔長</td><td>土被り長 (ℓ₂)</td><td>1本当り注入量 (Q₀)</td><td>水ガラス積算流量計の有無</td><td>特許料の有無</td></tr><tr><td>①単相方式</td><td>①2セット</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (m)</td><td rowspan="2">(実数入力) (ℓ)</td><td rowspan="2">①無 ②有</td><td rowspan="2">①無 ②有</td></tr><tr><td>②複相方式</td><td>②4セット</td></tr></table> (注) 1. 注入材単価 (Y-1633000) [円/ℓ] を単価登録すること。 2. J 9 8 条件で②を選択した場合は、特許料金 (Y-7550002) [円/ℓ] を単価登録すること。				施工歩掛コード	WB223710		施工単位		本		施工区分	入 力 条 件								各 種	J 1	J 2 1	J 3 2	J 4 3	J 5 4	J 6 5	J 7 6	J 8 7	J 9 8	注入方式	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q ₀)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無	①単相方式	①2セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有	②複相方式	②4セット	歩掛改定に伴う記載の修正	
施工歩掛コード	WB223710		施工単位		本																																																																																																																																																																																																																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																																																					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5	J 6	J 7	J 8	J 9																																																																																																																																																																																																																																													
	注入方式	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q ₀)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無																																																																																																																																																																																																																																													
	①単相方式	①2セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																																																																																																																																																																													
	②複相方式	②4セット																																																																																																																																																																																																																																																				
施工歩掛コード	WB223720		施工単位		本																																																																																																																																																																																																																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																																																					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																																																																																																																	
	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)																																																																																																																																																																																																																																																	
	① 1 セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)																																																																																																																																																																																																																																																	
	② 2 セット																																																																																																																																																																																																																																																					
施工歩掛コード	WB223730		施工単位		本																																																																																																																																																																																																																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																																																					
各 種	J 1	J 2	J 3																																																																																																																																																																																																																																																			
	土 被 り 長 (ℓ ₂)	1 本当り注入量 (Q ₀₁)	特許料の有無																																																																																																																																																																																																																																																			
	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有																																																																																																																																																																																																																																																			
施工歩掛コード	WB223740		施工単位		本																																																																																																																																																																																																																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																																																					
各 種	J 1	J 2	J 3	J 4	J 5																																																																																																																																																																																																																																																	
	注入材種別	土 被 り 長 (ℓ ₂)	1 本当り注入量 (Q ₀₂)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無																																																																																																																																																																																																																																																	
	①溶液型有機系 ②溶液型無機系	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																																																																																																																																																																																	
施工歩掛コード	WB223710		施工単位		本																																																																																																																																																																																																																																																	
施工区分	入 力 条 件																																																																																																																																																																																																																																																					
各 種	J 1	J 2 1	J 3 2	J 4 3	J 5 4	J 6 5	J 7 6	J 8 7	J 9 8																																																																																																																																																																																																																																													
	注入方式	セット数	レキ質土の削孔長	砂質土の削孔長	粘性土の削孔長	土被り長 (ℓ ₂)	1本当り注入量 (Q ₀)	水ガラス積算流量計の有無	特許料の有無																																																																																																																																																																																																																																													
	①単相方式	①2セット	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (m)	(実数入力) (ℓ)	①無 ②有	①無 ②有																																																																																																																																																																																																																																													
	②複相方式	②4セット																																																																																																																																																																																																																																																				
現行どおり																																																																																																																																																																																																																																																						
II-2-⑫-14																																																																																																																																																																																																																																																						
積算上の注意事項								(控え頁)																																																																																																																																																																																																																																														
								8 / 8																																																																																																																																																																																																																																														

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由	一 部 改 正	改 正	
		現 行	
現	行	改 正	備 考
⑬ アンカー工(ロータリーパーカッション式) 1. 適 用 範 囲 本資料は、ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達し、長期に供用するグラウンドアンカー工法に適用する。 1－1 適用出来る範囲 1－1－1 削孔(アンカー) (1) ボーリングマシンによるアンカー孔の削孔、ドリルパイプの引抜き、横移動作業 なお、積算においては、上質毎に積上げを行うこととする。 1－1－2 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー) (1) アンカー鋼材の現地加工、組立から孔内挿入までの作業及び工場で組立・加工する場合のアンカー鋼材挿入作業 (2) 緊張ジャッキで所定の緊張力(荷重)をかけ、クサビ及びナット等で定着及び頭部処理(頭部背面処理を含む)を行う作業 1－1－3 グラウト注入(アンカー) (1) アンカー孔内へのグラウト注入の作業 1－1－4 ボーリングマシン移設(アンカー) (1) スキッド型ボーリングマシンの据付け・撤去及び上下移動(移設)作業 ただし、横移動は、削孔工を含む。 1－1－5 足場(アンカー) (1) スキッド型ボーリングマシン据付の架台となる足場材の設置及び撤去作業 1－2 適用出来ない範囲 1－2－1 足場(アンカー) (1) 足場工の足場材の設置及び撤去作業で、クローラ型ボーリングマシンを選定する場合 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. ロータリーパーカッション式ボーリングマシンをクローラ型とするときは、足場設置・撤去及びボーリングマシン据付・移設・撤去は対象外となる。 Ⅱ-2-⑬-1		⑬ アンカー工(ロータリーパーカッション式) 1. 適 用 範 囲 本資料は、ロータリーパーカッション式ボーリングマシンにより 二重実線による削孔を行い、アンカー鋼材にて引張力を地盤に伝達し、長期に供用するグラウンドアンカー工法に適用する。 2. 施 工 概 要 施工フローは、下記を標準とする。 (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。 2. ロータリーパーカッション式ボーリングマシンをクローラ型とするときは、足場設置・撤去及びボーリングマシン据付・移設・撤去は対象外となる。	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
積算上の注意事項			(控え頁) 1／8

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由	一部改正		改 正																																																																																							
			現 行																																																																																							
現 行			改 正	備 考																																																																																						
3. 施工パッケージ 3-1 削孔（アンカー） （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 1 削孔(アンカー) 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>足場工の有無</th><th>方式</th><th>呼び径</th><th>土質</th></tr><tr><td rowspan="7">有り (スキッド型)</td><td rowspan="3">単管方式</td><td>90mm</td><td rowspan="3">(表 3. 2)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td rowspan="4">二重管方式</td><td>90mm</td><td rowspan="4">(表 3. 3)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td>146mm</td></tr><tr><td rowspan="7">無し (クローラ型)</td><td rowspan="3">単管方式</td><td>90mm</td><td rowspan="3">(表 3. 2)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td rowspan="4">二重管方式</td><td>90mm</td><td rowspan="4">(表 3. 3)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td>146mm</td></tr></table> (注) 1. 上表はアンカー孔の削孔、ドリルパイプの引抜き、ボーリングマシン横移動作業、削孔材料損耗品費の他、削孔用水ポンプ、給水用ポンプ、排水用ポンプ、水槽損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。 2. 呼び径とは、ドリルパイプ外径（mm）をいう。 3. 転石等土質条件が上表区分に適用しないと判断される場合は、別途考慮する。 4. 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。 表3. 2 土質(単管方式) <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="3">土質</td><td>粘性土・砂質土</td></tr><tr><td>レキ質土</td></tr><tr><td>玉石混り土</td></tr></table> 表3. 3 土質(二重管方式) <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="5">土質</td><td>粘性土・砂質土</td></tr><tr><td>レキ質土</td></tr><tr><td>玉石混り土</td></tr><tr><td>軟岩</td></tr><tr><td>硬岩</td></tr></table> (注) 硬岩はコンクリートを含む II-2-⑬-2			足場工の有無	方式	呼び径	土質	有り (スキッド型)	単管方式	90mm	(表 3. 2)	115mm	135mm	二重管方式	90mm	(表 3. 3)	115mm	135mm	146mm	無し (クローラ型)	単管方式	90mm	(表 3. 2)	115mm	135mm	二重管方式	90mm	(表 3. 3)	115mm	135mm	146mm	積算条件	区分	土質	粘性土・砂質土	レキ質土	玉石混り土	積算条件	区分	土質	粘性土・砂質土	レキ質土	玉石混り土	軟岩	硬岩	3. 施工パッケージ 3-1 削孔（アンカー） （1）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 1 削孔(アンカー) 積算条件区分一覧 (積算単位：m) <table><tr><th>足場工の有無</th><th>方式</th><th>呼び径</th><th>土質</th></tr><tr><td rowspan="7">有り (スキッド型)</td><td rowspan="3">単管方式</td><td>90mm</td><td rowspan="3">(表 3. 2)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td rowspan="4">二重管方式</td><td>90mm</td><td rowspan="4">(表 3. 32)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td>146mm</td></tr><tr><td rowspan="7">無し (クローラ型)</td><td rowspan="3">単管方式</td><td>90mm</td><td rowspan="3">(表 3. 2)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td rowspan="4">二重管方式</td><td>90mm</td><td rowspan="4">(表 3. 32)</td></tr><tr><td>115mm</td></tr><tr><td>135mm</td></tr><tr><td>146mm</td></tr></table> (注) 1. 上表はアンカー孔の削孔、ドリルパイプの引抜き、ボーリングマシン横移動作業、削孔材料損耗品費の他、削孔用水ポンプ、給水用ポンプ、排水用ポンプ、空気圧縮機、水槽損料、電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。 2. 呼び径とは、ドリルパイプ外径（mm）をいう。 3. 転石等土質条件が上表区分に適用しないと判断される場合は、別途考慮する。 4. 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。 表3-2 土質(単管方式) <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="4">土質</td><td>粘性土・砂質土</td></tr><tr><td>レキ質土</td></tr><tr><td>玉石混り土</td></tr><tr><td></td></tr></table> 表3. 32 土質(二重管方式) <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="5">土質</td><td>粘性土・砂質土</td></tr><tr><td>レキ質土</td></tr><tr><td>玉石混り土</td></tr><tr><td>軟岩</td></tr><tr><td>硬岩</td></tr></table> (注) 硬岩はコンクリートを含む		足場工の有無	方式	呼び径	土質	有り (スキッド型)	単管方式	90mm	(表 3. 2)	115mm	135mm	二重管方式	90mm	(表 3. 32)	115mm	135mm	146mm	無し (クローラ型)	単管方式	90mm	(表 3. 2)	115mm	135mm	二重管方式	90mm	(表 3. 32)	115mm	135mm	146mm	積算条件	区分	土質	粘性土・砂質土	レキ質土	玉石混り土		積算条件	区分	土質	粘性土・砂質土	レキ質土	玉石混り土	軟岩	硬岩	記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)
足場工の有無	方式	呼び径	土質																																																																																							
有り (スキッド型)	単管方式	90mm	(表 3. 2)																																																																																							
		115mm																																																																																								
		135mm																																																																																								
	二重管方式	90mm	(表 3. 3)																																																																																							
		115mm																																																																																								
		135mm																																																																																								
		146mm																																																																																								
無し (クローラ型)	単管方式	90mm	(表 3. 2)																																																																																							
		115mm																																																																																								
		135mm																																																																																								
	二重管方式	90mm	(表 3. 3)																																																																																							
		115mm																																																																																								
		135mm																																																																																								
		146mm																																																																																								
積算条件	区分																																																																																									
土質	粘性土・砂質土																																																																																									
	レキ質土																																																																																									
	玉石混り土																																																																																									
積算条件	区分																																																																																									
土質	粘性土・砂質土																																																																																									
	レキ質土																																																																																									
	玉石混り土																																																																																									
	軟岩																																																																																									
	硬岩																																																																																									
足場工の有無	方式	呼び径	土質																																																																																							
有り (スキッド型)	単管方式	90mm	(表 3. 2)																																																																																							
		115mm																																																																																								
		135mm																																																																																								
	二重管方式	90mm	(表 3. 32)																																																																																							
		115mm																																																																																								
		135mm																																																																																								
		146mm																																																																																								
無し (クローラ型)	単管方式	90mm	(表 3. 2)																																																																																							
		115mm																																																																																								
		135mm																																																																																								
	二重管方式	90mm	(表 3. 32)																																																																																							
		115mm																																																																																								
		135mm																																																																																								
		146mm																																																																																								
積算条件	区分																																																																																									
土質	粘性土・砂質土																																																																																									
	レキ質土																																																																																									
	玉石混り土																																																																																									
積算条件	区分																																																																																									
土質	粘性土・砂質土																																																																																									
	レキ質土																																																																																									
	玉石混り土																																																																																									
	軟岩																																																																																									
	硬岩																																																																																									
積算上の注意事項			(控え頁) 2／8																																																																																							

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由	一部改正	改 正	現 行	備 考		
現 行		改 正		備 考		
(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。		(2) 代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)		
表3. 4 削孔(アンカー) 代表機材規格一覧		表3. 43 削孔(アンカー) 代表機材規格一覧				
方式	項目	代表機材規格	備考			
単管	機械	K 1	ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 55kW 級	足場工有りの場合		
			ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] クローラ型 81kW 級	足場工無しの場合		
		K 2	—			
		K 3	—			
	労務	R 1	普通作業員			
		R 2	土木一般世話役			
		R 3	特殊作業員			
		R 4	—			
	材料	Z 1	リングビット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合		
			リングビット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合		
			リングビット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合		
		Z 2	ドリルパイプ φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合		
			ドリルパイプ φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合		
			ドリルパイプ φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合		
		Z 3	シャンクロッド φ90mm 用	呼び径 90mm の場合		
			シャンクロッド φ115mm 用	呼び径 115mm の場合		
			シャンクロッド φ135mm 用	呼び径 135mm の場合		
		Z 4	打込アダプタ φ90mm 用	呼び径 90mm の場合		
			打込アダプタ φ115mm 用	呼び径 115mm の場合		
			打込アダプタ φ135mm 用	呼び径 135mm の場合		
		市場単価	S	—		
		二重管	機械	K 1	ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] スキッド型 55kW 級	足場工有りの場合
					ボーリングマシン [ロータリパーカッション式] クローラ型 81kW 級	足場工無しの場合
				K 2	—	
K 3	—					
労務	R 1		普通作業員			
	R 2		土木一般世話役			
	R 3		特殊作業員			
	R 4		—			
材料	Z 1		インナーロッド φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合		
			インナーロッド φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合		
			インナーロッド φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合		
			インナーロッド φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合		
	Z 2		インナービット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合		
			インナービット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合		
			インナービット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合		
			インナービット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合		
	Z 3		リングビット φ90mm 用	呼び径 90mm の場合		
			リングビット φ115mm 用	呼び径 115mm の場合		
			リングビット φ135mm 用	呼び径 135mm の場合		
			リングビット φ146mm 用	呼び径 146mm の場合		
	Z 4		ドリルパイプ φ90mm 用 (1.5m)	呼び径 90mm の場合		
			ドリルパイプ φ115mm 用 (1.5m)	呼び径 115mm の場合		
			ドリルパイプ φ135mm 用 (1.5m)	呼び径 135mm の場合		
			ドリルパイプ φ146mm 用 (1.5m)	呼び径 146mm の場合		
市場単価	S	—				
II-2-⑬-3						
積算上の注意事項				(控え頁) 3／8		

記載の修正・削除
(歩掛改定に伴う)

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由	一部改正		改 正																																																																																								
現 行			改 正	備 考																																																																																							
3-2 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー） （１）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 5 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー) 積算条件区分一覧 (積算単位：本) <table><tr><th>防食方式</th><th>アンカー鋼材</th><th>削孔長</th><th>設計荷重 (f)</th><th>頭部処理の有無</th></tr><tr><td rowspan="4">二重防食</td><td>PC 鋼線より線</td><td>(表 3.6)</td><td rowspan="3">(表 3.7)</td><td rowspan="8">(表 3.8)</td></tr><tr><td>PC 鋼線より線（工場組立）</td><td>—</td></tr><tr><td>複合 PC 鋼線より線束</td><td rowspan="2">(表 3.6)</td></tr><tr><td>PC 鋼棒</td></tr><tr><td rowspan="4">簡易防食</td><td>PC 鋼線より線</td><td>(表 3.6)</td><td rowspan="3">(表 3.7)</td></tr><tr><td>PC 鋼線より線（工場組立）</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">PC 鋼棒</td><td rowspan="2">(表 3.6)</td></tr><tr><td>f < 400kN</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>400 ≦ f < 1,300kN</td></tr></table> (注) 1. 上表は、アンカー鋼材の現地加工・組立(シース、防錆材、止水部、スペーサの取付け)、孔内挿入、現場内小運搬、緊張ジャッキによる緊張、クサビ及びナット等での定着及び頭部処理(頭部背面処理を含む)の他、切断機、緊張ジャッキ、油圧ポンプ損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、アンカー(材料費)は含まない。また、PC 鋼線より線を全て工場で組立・加工する場合は、アンカー鋼材の現地加工・組立は含まない。 2. 二重防食とは、腐食防護が二重になされたものをいい、簡易防食とは、腐食防護が二重になされていない簡易なものをいう。 3. PC 鋼線より線及びPC 鋼棒の現地加工・組立は、シース、防錆材、止水部の取付けである。 4. 複合PC 鋼線より線束の現地加工・組立は、スペーサの取付けである。 5. アンカーの材料費は別途計上する。 表3. 6 削孔長 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="2">削孔長</td><td>10m 以内</td></tr><tr><td>10m を超える</td></tr></table> 表3. 7 設計荷重 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="3">設計荷重</td><td>f < 400kN</td></tr><tr><td>400 ≦ f < 1,300kN</td></tr><tr><td>1,300 ≦ f < 2,000kN</td></tr></table> 表3. 8 頭部処理の有無 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="2">頭部処理の有無</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td></tr></table> II-2-⑬-4			防食方式	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重 (f)	頭部処理の有無	二重防食	PC 鋼線より線	(表 3.6)	(表 3.7)	(表 3.8)	PC 鋼線より線（工場組立）	—	複合 PC 鋼線より線束	(表 3.6)	PC 鋼棒	簡易防食	PC 鋼線より線	(表 3.6)	(表 3.7)	PC 鋼線より線（工場組立）	—	PC 鋼棒	(表 3.6)	f < 400kN			400 ≦ f < 1,300kN	積算条件	区分	削孔長	10m 以内	10m を超える	積算条件	区分	設計荷重	f < 400kN	400 ≦ f < 1,300kN	1,300 ≦ f < 2,000kN	積算条件	区分	頭部処理の有無	有り	無し	3-2 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー） （１）条件区分 条件区分は、次表を標準とする。 表3. 54 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー) 積算条件区分一覧 (積算単位：本) <table><tr><th>防食方式</th><th>アンカー鋼材</th><th>削孔長</th><th>設計荷重 (f)</th><th>頭部処理の有無</th></tr><tr><td rowspan="4">二重防食</td><td>PC 鋼線より線</td><td>(表 3.65)</td><td rowspan="3">(表 3.76)</td><td rowspan="8">(表 3.87)</td></tr><tr><td>PC 鋼線より線（工場組立）</td><td>—</td></tr><tr><td>複合 PC 鋼線より線束</td><td rowspan="2">(表 3.65)</td></tr><tr><td>PC 鋼棒</td></tr><tr><td rowspan="4">簡易防食</td><td>PC 鋼線より線</td><td>(表 3.65)</td><td rowspan="3">(表 3.76)</td></tr><tr><td>PC 鋼線より線（工場組立）</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">PC 鋼棒</td><td rowspan="2">(表 3.65)</td></tr><tr><td>f < 400kN</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>400 ≦ f < 1,300kN</td></tr></table> (注) 1. 上表は、アンカー鋼材の現地加工・組立(シース、防錆材、止水部、スペーサの取付け)、孔内挿入、現場内小運搬、緊張ジャッキによる緊張、クサビ及びナット等での定着及び頭部処理(頭部背面処理を含む)の他、切断機、緊張ジャッキ、油圧ポンプ損料及び電力に関する経費等、その施工に要する全ての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。ただし、アンカー(材料費)は含まない。また、PC 鋼線より線を全て工場で組立・加工する場合は、アンカー鋼材の現地加工・組立は含まない。 2. 二重防食とは、腐食防護が二重になされたものをいい、簡易防食とは、腐食防護が二重になされていない簡易なものをいう。 3. PC 鋼線より線及びPC 鋼棒の現地加工・組立は、シース、防錆材、止水部の取付けである。 4. 複合PC 鋼線より線束の現地加工・組立は、スペーサの取付けである。 5. アンカーの材料費は別途計上する。 表3. 65 削孔長 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="2">削孔長</td><td>10m 以内</td></tr><tr><td>10m を超える</td></tr></table> 表3. 76 設計荷重 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="3">設計荷重</td><td>f < 400kN</td></tr><tr><td>400 ≦ f < 1,300kN</td></tr><tr><td>1,300 ≦ f < 2,000kN</td></tr></table> 表3. 87 頭部処理の有無 <table><tr><th>積算条件</th><th>区分</th></tr><tr><td rowspan="2">頭部処理の有無</td><td>有り</td></tr><tr><td>無し</td></tr></table>		防食方式	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重 (f)	頭部処理の有無	二重防食	PC 鋼線より線	(表 3.65)	(表 3.76)	(表 3.87)	PC 鋼線より線（工場組立）	—	複合 PC 鋼線より線束	(表 3.65)	PC 鋼棒	簡易防食	PC 鋼線より線	(表 3.65)	(表 3.76)	PC 鋼線より線（工場組立）	—	PC 鋼棒	(表 3.65)	f < 400kN			400 ≦ f < 1,300kN	積算条件	区分	削孔長	10m 以内	10m を超える	積算条件	区分	設計荷重	f < 400kN	400 ≦ f < 1,300kN	1,300 ≦ f < 2,000kN	積算条件	区分	頭部処理の有無	有り	無し	記載の変更
防食方式	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重 (f)	頭部処理の有無																																																																																							
二重防食	PC 鋼線より線	(表 3.6)	(表 3.7)	(表 3.8)																																																																																							
	PC 鋼線より線（工場組立）	—																																																																																									
	複合 PC 鋼線より線束	(表 3.6)																																																																																									
	PC 鋼棒																																																																																										
簡易防食	PC 鋼線より線	(表 3.6)	(表 3.7)																																																																																								
	PC 鋼線より線（工場組立）	—																																																																																									
	PC 鋼棒	(表 3.6)																																																																																									
			f < 400kN																																																																																								
		400 ≦ f < 1,300kN																																																																																									
積算条件	区分																																																																																										
削孔長	10m 以内																																																																																										
	10m を超える																																																																																										
積算条件	区分																																																																																										
設計荷重	f < 400kN																																																																																										
	400 ≦ f < 1,300kN																																																																																										
	1,300 ≦ f < 2,000kN																																																																																										
積算条件	区分																																																																																										
頭部処理の有無	有り																																																																																										
	無し																																																																																										
防食方式	アンカー鋼材	削孔長	設計荷重 (f)	頭部処理の有無																																																																																							
二重防食	PC 鋼線より線	(表 3.65)	(表 3.76)	(表 3.87)																																																																																							
	PC 鋼線より線（工場組立）	—																																																																																									
	複合 PC 鋼線より線束	(表 3.65)																																																																																									
	PC 鋼棒																																																																																										
簡易防食	PC 鋼線より線	(表 3.65)	(表 3.76)																																																																																								
	PC 鋼線より線（工場組立）	—																																																																																									
	PC 鋼棒	(表 3.65)																																																																																									
			f < 400kN																																																																																								
		400 ≦ f < 1,300kN																																																																																									
積算条件	区分																																																																																										
削孔長	10m 以内																																																																																										
	10m を超える																																																																																										
積算条件	区分																																																																																										
設計荷重	f < 400kN																																																																																										
	400 ≦ f < 1,300kN																																																																																										
	1,300 ≦ f < 2,000kN																																																																																										
積算条件	区分																																																																																										
頭部処理の有無	有り																																																																																										
	無し																																																																																										
積算上の注意事項				(控え頁) 4／8																																																																																							

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由	一部改正		改 正 現 行																																																															
現 行		改 正		備 考																																																														
(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 9 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー) 代表機材材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table> 3-3 グラウト注入 (アンカー) (1) 条件区分 グラウト注入(アンカー)における積算条件区分はない。 積算単位は、m3 とする。 (注) アンカー孔内へのグラウト注入打設、注入材料の他、グラウトミキサ、グラウトポンプ、工事用水中モータポンプ、水槽損料、電力に関する経費等、その他の施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。 グラウトの使用量は、次式を参考とする。 $V = \frac{D^2 \times \pi}{4 \times 10^6} \times L \times (1 + K)$ V：注入量 (m³) D：ドリルパイプの外径 (mm) L：削孔長 (m) K：補正係数 (注) 設計における補正係数は、2.2 を標準とする。ただし、過去の実績や土質条件等により本係数を使用することが不合理である場合は、別途考慮する。		項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	(2) 代表機材規格 下表機材材は、当該施工パッケージで使用されている機材材の代表的な規格である。 表3. 9.8 アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理(アンカー) 代表機材材規格一覧 <table><tr><th>項目</th><th>代表機材材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td></tr></table>		項目	代表機材材規格	備考	機械	K 1	—	K 2	—	K 3	—	労務	R 1	普通作業員	R 2	土木一般世話役	R 3	特殊作業員	R 4	—	材料	Z 1	—	Z 2	—	Z 3	—	Z 4	—	市場単価	S	—	記載の変更
項目	代表機材材規格	備考																																																																
機械	K 1	—																																																																
	K 2	—																																																																
	K 3	—																																																																
労務	R 1	普通作業員																																																																
	R 2	土木一般世話役																																																																
	R 3	特殊作業員																																																																
	R 4	—																																																																
材料	Z 1	—																																																																
	Z 2	—																																																																
	Z 3	—																																																																
	Z 4	—																																																																
市場単価	S	—																																																																
項目	代表機材材規格	備考																																																																
機械	K 1	—																																																																
	K 2	—																																																																
	K 3	—																																																																
労務	R 1	普通作業員																																																																
	R 2	土木一般世話役																																																																
	R 3	特殊作業員																																																																
	R 4	—																																																																
材料	Z 1	—																																																																
	Z 2	—																																																																
	Z 3	—																																																																
	Z 4	—																																																																
市場単価	S	—																																																																
II-2-⑬-5		現行どおり																																																																
積算上の注意事項				(控え頁) 5／8																																																														

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由		一部改正		改 正																																																																																													
				現 行																																																																																													
現 行				改 正				備 考																																																																																									
(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 10 グラウト注入(アンカー) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>普通ポルトランドセメント 25kg 袋入</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		(2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 409 グラウト注入(アンカー) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>普通ポルトランドセメント 25kg 袋入</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	—		K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の変更	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	—																																																																																															
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	—																																																																																															
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材料	Z 1	普通ポルトランドセメント 25kg 袋入																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
3-4 ボーリングマシン移設 (アンカー) (1) 条件区分 ボーリングマシン移設 (アンカー) における積算条件区分はない。 積算単位は、回とする。(据付・撤去1組で1回) (注) 1. スキッド型ボーリングマシンの据付・撤去及び上下移動 (移設) 等、その他の施工に必要な全ての機械・労務・材料費 (損料を含む) を含む。 2. 横移動は、3-1 削孔 (アンカー) に含む。 (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 11 ボーリングマシン移設(アンカー) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊</td><td>貨料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	貨料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		現行どおり (2) 代表機労材規格 下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。 表3. 4+10 ボーリングマシン移設(アンカー) 代表機労材規格一覧 <table><tr><th colspan="2">項目</th><th>代表機労材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1</td><td>ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第23次基準値)] 25t 吊</td><td>貨料</td></tr><tr><td>K 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>K 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1</td><td>普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 2</td><td>土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3</td><td>特殊作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 2</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 3</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>Z 4</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S</td><td>—</td><td></td></tr></table>				項目		代表機労材規格	備考	機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 3次基準値)] 25t 吊	貨料	K 2	—		K 3	—		労務	R 1	普通作業員		R 2	土木一般世話役		R 3	特殊作業員		R 4	—		材料	Z 1	—		Z 2	—		Z 3	—		Z 4	—		市場単価	S	—		記載の修正・削除 (歩掛改定に伴う)	
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 25t 吊	貨料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材料	Z 1	—																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
項目		代表機労材規格	備考																																																																																														
機械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 2 3次基準値)] 25t 吊	貨料																																																																																														
	K 2	—																																																																																															
	K 3	—																																																																																															
労務	R 1	普通作業員																																																																																															
	R 2	土木一般世話役																																																																																															
	R 3	特殊作業員																																																																																															
	R 4	—																																																																																															
材料	Z 1	—																																																																																															
	Z 2	—																																																																																															
	Z 3	—																																																																																															
	Z 4	—																																																																																															
市場単価	S	—																																																																																															
II-2-⑬-6																																																																																																	
積算上の注意事項				(控え頁)																																																																																													
				6/8																																																																																													

工 種	アンカー工(ロータリーパーカッション式)
-----	----------------------

改 正 理 由	一部改正		改 正																																																																						
			現 行																																																																						
現 行			改 正																																																																						
備 考																																																																									
3－5 足場（アンカー） （1）条件区分 足場（アンカー）における積算条件区分はない。 積算単位は、空 m3 とする。 （注）1. アンカー施工時の足場の設置・撤去作業の他、パイプ、クランプ、足場板、ベース等、その他の施工に要する全ての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。 2. 作業面の足場幅は、4.5m を標準とする。 （2）代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 12 足場(アンカー) 代表機材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>K 3 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 とび工</td><td></td></tr><tr><td>R 2 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table> 3－6 アンカー（材料費） （1）条件区分 アンカー（材料費）における積算条件区分はない。 積算単位は、式とする。			表3. 12 足場(アンカー) 代表機材規格一覧			項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕25t 吊	賃料	K 2 ー		K 3 ー		労務	R 1 とび工		R 2 土木一般世話役		R 3 普通作業員		R 4 ー		材料	Z 1 ー		Z 2 ー		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		現行どおり （2）代表機材規格 下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。 <table><tr><th colspan="3">表3. 4211 足場(アンカー) 代表機材規格一覧</th></tr><tr><th>項目</th><th>代表機材規格</th><th>備考</th></tr><tr><td rowspan="3">機械</td><td>K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第23次基準値）〕25t 吊</td><td>賃料</td></tr><tr><td>K 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>K 3 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">労務</td><td>R 1 とび工</td><td></td></tr><tr><td>R 2 土木一般世話役</td><td></td></tr><tr><td>R 3 普通作業員</td><td></td></tr><tr><td>R 4 ー</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">材料</td><td>Z 1 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 2 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 3 ー</td><td></td></tr><tr><td>Z 4 ー</td><td></td></tr><tr><td>市場単価</td><td>S ー</td><td></td></tr></table> 現行どおり		表3. 4211 足場(アンカー) 代表機材規格一覧			項目	代表機材規格	備考	機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 3次基準値）〕25t 吊	賃料	K 2 ー		K 3 ー		労務	R 1 とび工		R 2 土木一般世話役		R 3 普通作業員		R 4 ー		材料	Z 1 ー		Z 2 ー		Z 3 ー		Z 4 ー		市場単価	S ー		記載の修正・削除 （歩掛改定に伴う）
表3. 12 足場(アンカー) 代表機材規格一覧																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																							
機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕25t 吊	賃料																																																																							
	K 2 ー																																																																								
	K 3 ー																																																																								
労務	R 1 とび工																																																																								
	R 2 土木一般世話役																																																																								
	R 3 普通作業員																																																																								
	R 4 ー																																																																								
材料	Z 1 ー																																																																								
	Z 2 ー																																																																								
	Z 3 ー																																																																								
	Z 4 ー																																																																								
市場単価	S ー																																																																								
表3. 4211 足場(アンカー) 代表機材規格一覧																																																																									
項目	代表機材規格	備考																																																																							
機械	K 1 ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第 2 3次基準値）〕25t 吊	賃料																																																																							
	K 2 ー																																																																								
	K 3 ー																																																																								
労務	R 1 とび工																																																																								
	R 2 土木一般世話役																																																																								
	R 3 普通作業員																																																																								
	R 4 ー																																																																								
材料	Z 1 ー																																																																								
	Z 2 ー																																																																								
	Z 3 ー																																																																								
	Z 4 ー																																																																								
市場単価	S ー																																																																								
積算上の注意事項				（控え頁） 7／8																																																																					